CG-WLBARGNH
CG-WLBARGNH-P
CG-WLBARGNH-U

お使いの手引き

Y613-17152-00 Rev.A

→「既存の無線LANアダプタで接続する」（P.34）
→「Windows Vista/XPの内蔵無線LANで接続する」（P.35）
→「Air Mac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する」（P.44）
→「●LANケーブルで接続して本商品の設定をする」（P.49）

に接続する！

PART3　インターネットに接続する（P.47）

〔ルータとモデムを接続〕

LAN

モデムの
電源オフ

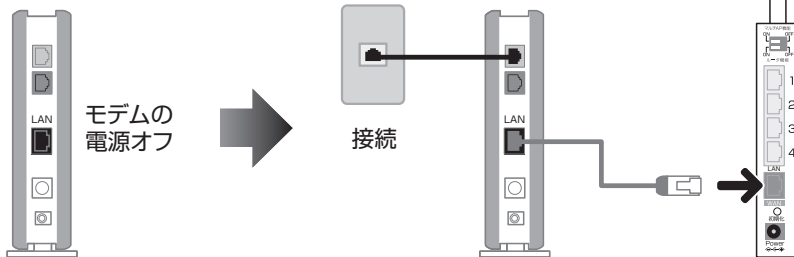
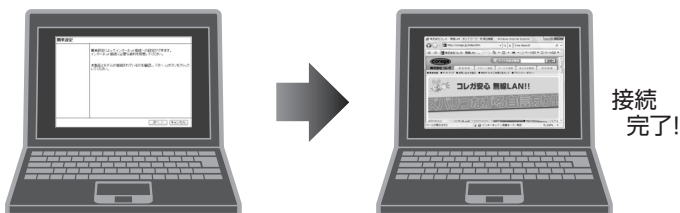
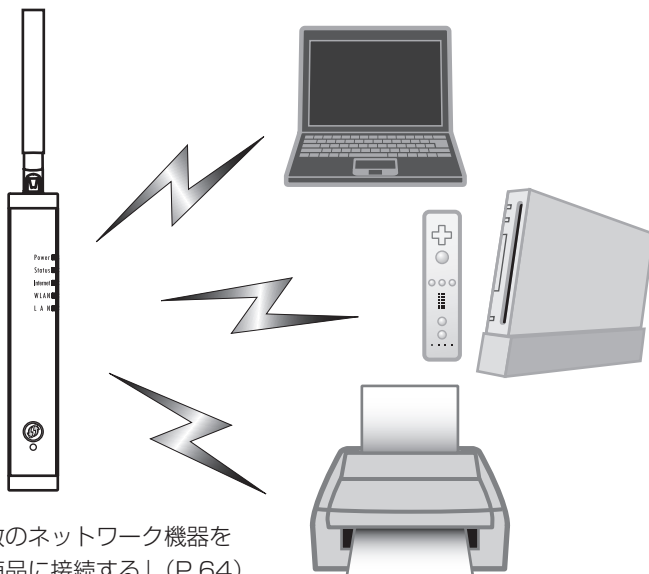
接続

LAN

1
2
3
4
LAN
WAN
初期化
Power

〔ルータの設定〕

接続
完了!

複数のネットワーク機を接続する

→「複数のネットワーク機器を
本商品に接続する」（P.64）

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明

この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。

例) 「発火注意」

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

例) 「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。

例) 「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源(AC100V)以外では絶対に使用しないでください。

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用ACアダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。

本商品付属以外のACアダプタ(または電源ケーブル)の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル(またはACアダプタ)をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品(ACアダプタ含む)は風通しの悪い場所に設置しないでください。

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

本商品(ACアダプタ含む)を分解や改造はしないでください。

感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品(ACアダプタ含む)にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線製品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず本書裏面をお読みください。

・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の製品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置(例:パーティションの設置など)についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへお問い合わせください。

側面の次の記載は、この無線機器が2.4GHz 帯を使用し、変調方式としてDS-SSとOFDM変調方式を採用、想定される干渉距離は 40m であることを表します。
また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能であることを示します。

2.4DS/OF4
■■■

2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF :DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4 :想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■ :全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■セキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。
メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-WLBARGNHのことです。
無線LANアダプタ	CG-WLCB300GNMまたは CG-WLUSB300GNMのことです。
「　」－「　」－「　」	－（ハイフン）は、「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　　]	[　　　]で囲んである文字は画面上のボタンを示します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Businessおよび Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

PART1　お使いの前に

製品概要

本商品は、IEEE802.11n（ドラフト）、IEEE802.11g、IEEE802.11bに準拠した無線ブロードバンドルータです。本商品には次の特長があります。

■高速無線通信規格 IEEE802.11n（ドラフト）に対応

３本のアンテナを搭載し、40MHzのダブルチャンネルに対応しました。送信と受信に2×3のアンテナを使用し、データ分割して送受信することで、従来の54Mbps（理論値）の５倍以上の、３００Ｍｂｐｓ（理論値）へ高速化を実現しました。また、既存のIEEE802.11g/b製品とも互換性があります。

■省エネを考慮したエコピタ LED 消灯モードを搭載

本体前面のLEDを常時消灯する機能です。前面のLEDの明るさが気になる場合などに常時消灯することで、夜間でも気にせずお使いいただくことができます。

■全ポート（WAN/LAN 全５ポート）が高速のギガビットイーサネットに対応

WAN/LANすべてのポートがギガビットイーサネットに対応しました。有線接続での高速性を実現し、ネットワークの高速化におけるメリットを最大限に生かすことができます。

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応

無線LANの設定方法に、世界標準のWi-Fi規格「WPS」（Wi-Fi Protected Setup）を採用しました。同じ「WPS」を採用している無線LANアダプタと、ボタン1つで簡単に無線通信と暗号化を設定できます。

■最新セキュリティに対応

WEPのほか、最新の無線LANセキュリティであるWPA・WPA2などに対応します。

■ルータ機能スイッチ搭載

ルータ機能スイッチによって、ルータ機能付きのモデムをお使いの場合も、簡単に本商品のルータ機能を”オフ”にできます。

■マルチ AP 機能対応

Wi-Fi搭載ゲーム機との接続と、パソコンと家電などの高度なセキュリティを要求される機器の接続とを両立できます。

■ダイナミック DNS サービス「corede.net」に対応

「DynDNS」、「IvyNetwork」、「@NetDDNS」のほか、コレガが提供する無料ダイナミックDNS「corede.net（コレデ・ネット）」に対応します。

1

付属品の確認

はじめに次のものが同梱されていることを確認してください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

● CG-WLBARGNH（単品）

□ CG-WLBARGNH 本体　□ AC アダプタ
□壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）　□ LAN ケーブル（1.5m）
□お使いの手引き（本書）　□らくらく導入ガイド
□ニンテンドー DS・Wii を接続する
□コンテンツフィルタリングで安心インターネット　□電波干渉注意ラベル
□製品保証書

● CG-WLBARGNH-P

□ CG-WLBARGNH 本体　□ CG-WLCB300GNM 本体
□ AC アダプタ　□壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）
□ LAN ケーブル（1.5m）　□お使いの手引き（本書）
□らくらく導入ガイド　□ニンテンドー DS・Wii を接続する
□コンテンツフィルタリングで安心インターネット　□電波干渉注意ラベル
□製品保証書

● CG-WLBARGNH-U

□ CG-WLBARGNH 本体　□ CG-WLUSB300GNM 本体
□ AC アダプタ　□壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）
□ LAN ケーブル（1.5m）　□ USB フレキシブルケーブル
□お使いの手引き（本書）　□らくらく導入ガイド
□ニンテンドー DS・Wii を接続する
□コンテンツフィルタリングで安心インターネット　□電波干渉注意ラベル
□製品保証書

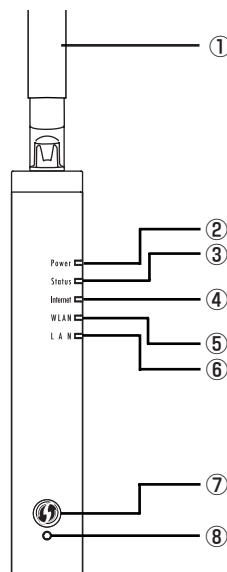
各部の名称と機能

● CG-WLBARGNH

■前面

①アンテナ
　電波の送受信部です。
② Power LED（緑 / 橙）
　本商品の電源の状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）
③ Status LED（赤）
　本商品のセルフテストの結果を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）

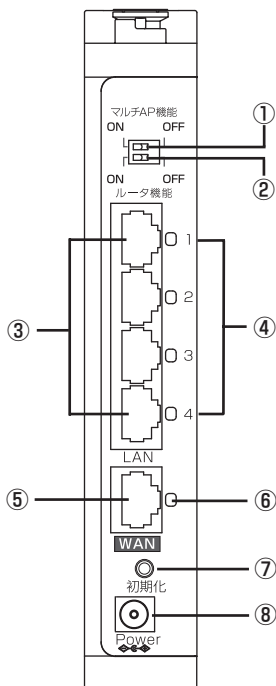
電源を入れてしばらくするとStatus LEDが点灯します。電源を入れて 3 分以上経ってもStatus LED が点灯したままになった場合は、セルフテストに失敗しています。その場合は、一度電源を入れ直してください。

④ Internet LED（緑）
　インターネットとの通信状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）
⑤ WLAN LED（緑）
　無線 LAN の通信状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）
⑥ LAN LED（緑）
　LAN ケーブルでの通信状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）
⑦ WPS ボタン
　WPS（Wi-Fi Protected Setup）を設定するためのボタンです。
⑧ WPS LED（緑）
　WPS の設定状態が表示されます。
　→「LED の表示」（P.17）

■背面

①マルチ AP 機能スイッチ
SSID を 2 つに分け、無線のセキュリティ設定を使い分けることができます。
ON ：マルチ AP 機能を使用します。ファースト SSID とセカンド SSID の 2 つを使用できます。
OFF：マルチ AP 機能を使用しません。ファースト SSID のみを使用できます。

マルチAP機能スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

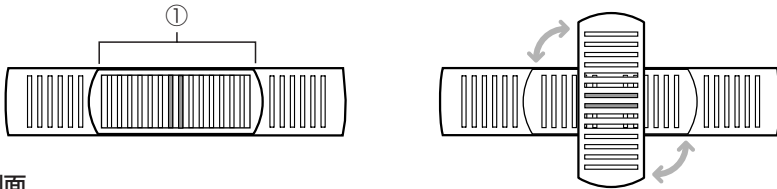
②ルータ機能スイッチ
ルータ機能を使用するかどうか設定できます。
ON ：ルータ機能がオン（有効）になっているか、または「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）の手順で、ルータ機能を使用するかどうかを設定できます。通常は ON の状態のままでお使いください。
OFF：ルータ機能を強制的にオフ（無効）にします。お使いの環境で、本商品より上位回線（インターネット）側にルータ機能の付いたモデムなどを接続している場合のみ、OFF にしてお使いください。この場合、本商品の IP アドレスが「192.168.1.220」（初期値）になり、また「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）の手順で本商品が設定できなくなります。

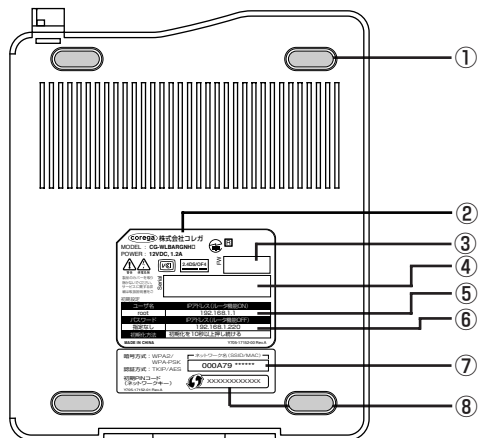
ルータ機能スイッチの操作は、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

③ LAN ポート（黄）
パソコンやハブを接続するためのポートです。
④ LAN ポート LED（緑）
LAN ポートの状態を表示します。
→「LED の表示」（P.17）
⑤ WAN ポート（青）
モデムや光回線終端装置（ONU）など、既存のネットワークの上位回線（インターネット）につなぐためのポートです。
⑥ WAN ポート LED（緑）
WAN ポートの状態を表示します。
→「LED の表示」（P.17）
⑦初期化ボタン
本商品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）ことができます。詳しくは「本商品を工場出荷時の状態に戻せますか？」（P.110）をご覧ください。

⑧ DC ジャック
　付属の専用 AC アダプタを接続するためのコネクタです。

必ず本商品に同梱の専用 AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。

■底面

①スタンド
　本商品を縦置きにするときに 90 度回転させてお使いください。

■左側面

①ゴム足
　本商品を横置きにするときにお使いください。
②製品ラベル
　商品名が記載されています。
③ファームウェアバージョン
　工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。
④シリアル番号
　本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。
⑤ IP アドレス（ルータ機能 ON）
　ルータ機能 ON のときのルータ設定用LAN側IPアドレス（初期値）が記載されています。
⑥ IP アドレス（ルータ機能 OFF）
　ルータ機能OFFのときのルータ設定用 LAN 側 IP アドレスが記載されています。実際にはお使いの環境によってLAN側IPアドレス（初期値）は変更されます。詳しくは、P.54の①をご覧ください。
⑦ MAC アドレス（SSID/MAC）
　本商品の MAC アドレスが記載されています。MACアドレスはSSIDと兼ねています。
⑧初期 PIN コード（ネットワークキー）
　本商品の無線 LAN セキュリティの初期 PIN コード（初期値）が記載されています。

● **CG-WLCB300GNM（CG-WLBARGNH-P のみ）**

■**前面**

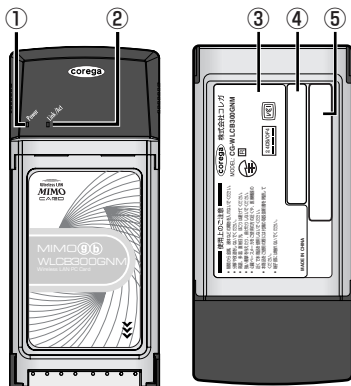
① Power LED（緑）
　電源の状態を表示します。
　→「LEDの表示」(P.17)。

② Link/Act LED（緑）
　本商品との接続状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）

■**背面**

③製品ラベル
　商品名が記載されています。

④ MAC アドレスラベル
　MACアドレスが記載されています。

⑤シリアル番号ラベル
　シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

● **CG-WLUSB300GNM（CG-WLBARGNH-U のみ）**

■**前面**

① LINK/ACT LED（緑）
　本商品との接続状態を表示します。
　→「LED の表示」（P.17）

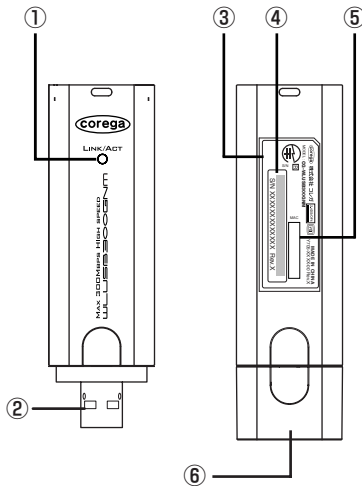
② USB プラグ
　パソコンの USB ポートに接続します。

■**背面**

③製品ラベル
　商品名が記載されています。

④シリアル番号ラベル
　シリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

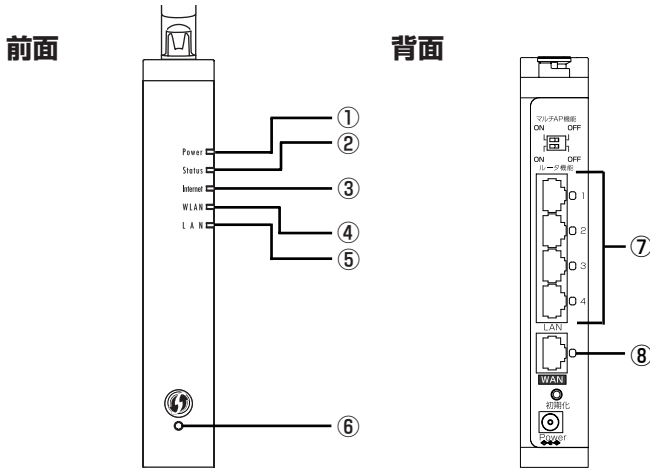
⑤ MAC アドレスラベル
　MACアドレスが記載されています。

⑥キャップ
　使用しないときに装着し、USB プラグを保護します。

LED の表示

● CG-WLBARGNH

本商品前面と背面の LED ランプの表示について説明します。

前面

背面

① Power LED

本商品の電源の状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本商品の電源が入っています。
橙	点灯	「エコピタLED消灯モード」（P.61）が有効になっています。
ー	消灯	本商品の電源が入っていません。

② Status LED

本商品のセルフテストの結果を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	セルフテスト中です。
ー	消灯	セルフテストの結果、正常に動作しています。 「エコピタLED消灯モード」（P.61）が有効になっています。

③ Internet LED

インターネットとの通信状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	インターネットに接続しています。
緑	点滅	接続に失敗しています。
ー	消灯	インターネットに接続していないか、ルータ機能がOFF（無効）、または「エコピタLED消灯モード」（P.61）が有効になっています。

④ WLAN LED

無線 LAN の通信状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	無線通信ができる状態です。
緑	点滅	無線通信中です。
ー	消灯	無線通信ができない状態か、「エコピタLED消灯モード」（P.61）が有効になっています。

⑤ LAN LED

LAN ケーブルでの通信状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本体背面の1～4のいずれかのLANポートが接続されています。
緑	点滅	データ通信中です。
ー	消灯	ケーブルが接続されていないか、「エコピタLED消灯モード」（P.61）が有効になっています。

⑥ WPS LED

WPS の設定状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点滅	WPSを設定中です。
ー	消灯	WPSが動作中、または未設定です。

⑦　LAN ポート LED

LAN ポートの状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	1000Mbps、100Mbps、10Mbpsでリンクが確立しています。
緑	点滅	データ通信中です。
ー	消灯	ケーブルが接続されていません。

⑧　WAN ポート LED

WAN ポートの状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	1000Mbps、100Mbps、10Mbpsでリンクが確立しています。
緑	点滅	データ通信中です。
ー	消灯	ケーブルが接続されていません。

1

セット品に付属している「CG-WLCB300GNM」と「CG-WLUSB300GNM」のLEDランプの表示について説明します。

● CG-WLCB300GNM （CG-WLBARGNH-Pのみ）

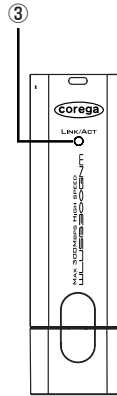
■前面

● CG-WLUSB300GNM （CG-WLBARGNH-Uのみ）

■前面

① Power LED

電源の状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	電源が供給されています。
ー	消灯	電源が供給されていません。

② Link/Act LED

本商品との接続状態を表示します。

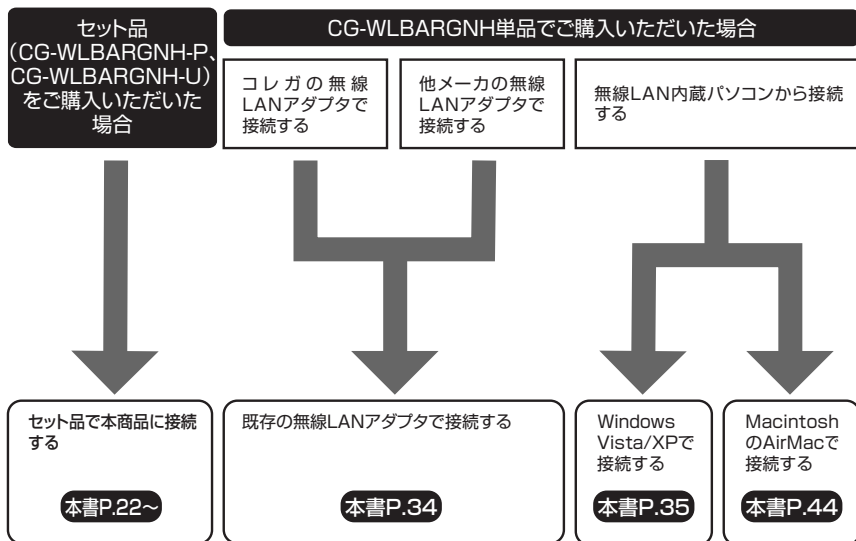
LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	接続しています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	接続していません。

③ Link/Act LED

本商品との接続状態を表示します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	接続しています。
緑	点滅	通信中です。
ー	消灯	接続していません。

PART2　無線LANで接続する

無線LANパソコンを本商品に接続するには、次のフローチャートに従って、お使いの環境に合わせて無線LANを設定してください。

● LANケーブルを使って本商品に接続する

まずはLANケーブルで本商品に接続してインターネット接続の設定をする場合は、「PART3　インターネットに接続する」（P.47）→「●LANケーブルで接続して本商品の設定をする」（P.49）の順に進みます。

2

セット品で本商品に接続する

セット品（CG-WLBARGNH-PまたはCG-WLBARGNH-U）には無線LANアダプタ（CG-WLCB300GNMまたはCG-WLUSB300GNM）が付属しています。無線LANアダプタと本商品を接続します。

- 現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、ユーティリティディスク（CD-ROM）が起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してユーティリティディスク（CD-ROM）を起動してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。
- 本商品の無線LANアダプタをインストールしてお使いになるパソコンに、他の無線LANアダプタを使用していたことがある場合は、必ずドライバユーティリティをアンインストール（削除）してから、本商品の無線LANアダプタのインストールをしてください。アンインストールの手順は、各機器によって異なります。各機器の取扱説明書をご覧になるか、各メーカにお問い合わせのうえ、正しい手順でアンインストールをしてください。

Windows Vista/XPの内蔵無線LANで接続する場合は、「Windows Vista/XPの内蔵無線LANで接続する」（P.35）、Macintosh の Air Mac で接続する場合は、「AirMac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する」（P.44）をご覧ください。

●無線LANアダプタをインストールする（セット品のみ）

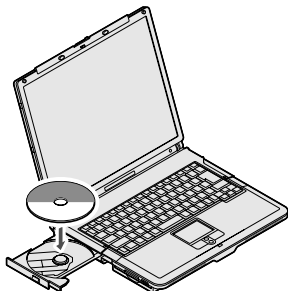
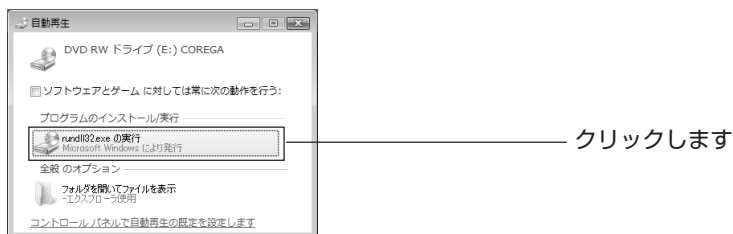
・Windows Vistaをお使いの場合

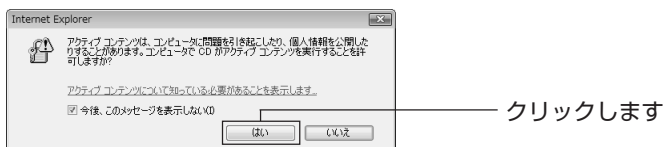
→「● Windows Vistaの場合」（P.22）へ

・Windows XP/2000をお使いの場合

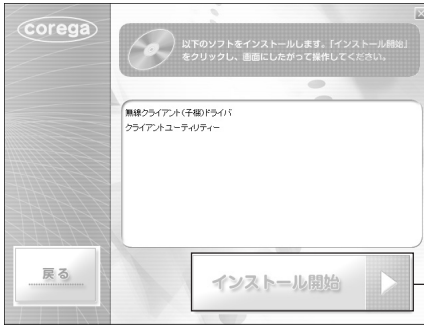
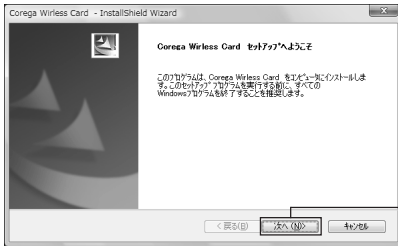
→「● Windows XP/2000の場合」（P.27）へ

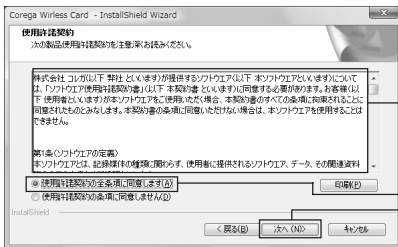
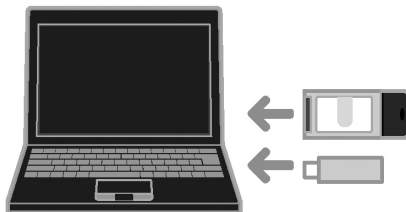
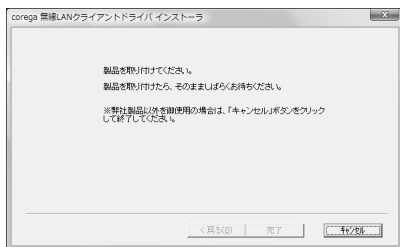
■ Windows Vistaの場合

1　ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

2　「rundll32.exe の実行」をクリックします。

3　「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「許可」をクリックします。

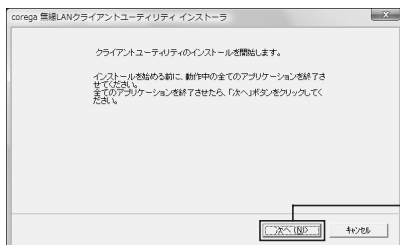
次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

4　[かんたんスタート] をクリックします。

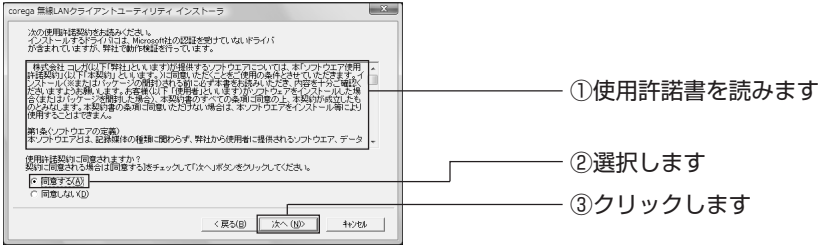
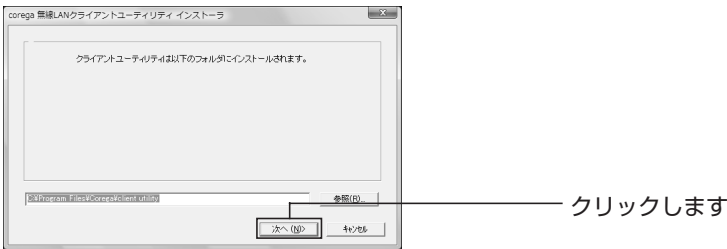
しばらく待っても画面が表示されない場合は、「コンピュータ」(「マイ コンピュータ」) の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

2

5　［インストール開始］をクリックします。

6　［次へ］をクリックします。

7　使用許諾書をご覧になり「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、［次へ］をクリックします。

8　次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線LANアダプタを取り付けます。

無線LANアダプタの取り付け方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

9　ドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［完了］をクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。
引き続きユーティリティのインストールが始まります。

10［次へ］をクリックします。

11 使用許諾書をご覧になり、「同意する」を選択して、［次へ］をクリックします。

12 ［次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティのインストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先を指定します。

13 クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。画面が表示されたら［OK］をクリックします。

以上でクライアントユーティリティのインストールは完了です。
引き続き「付属の無線 LAN アダプタを使って接続する（セット品のみ）」（P.30）へ進みます。

■ Windows XP/2000 の場合

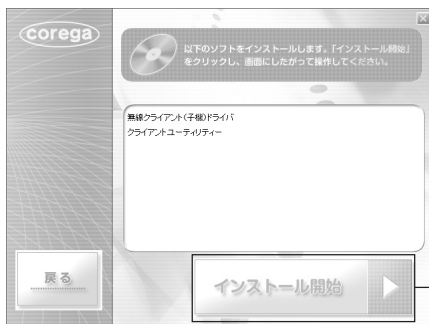
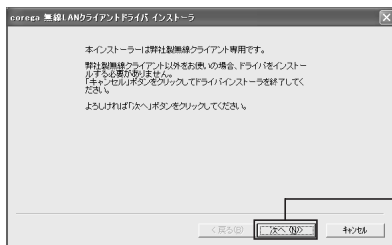
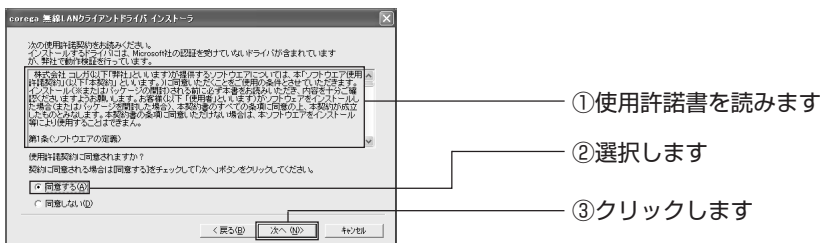
1　付属のユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2　［かんたんスタート］をクリックします。

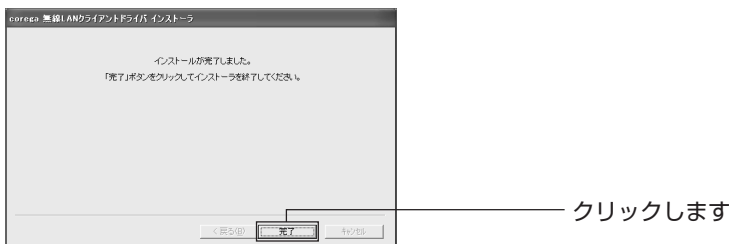
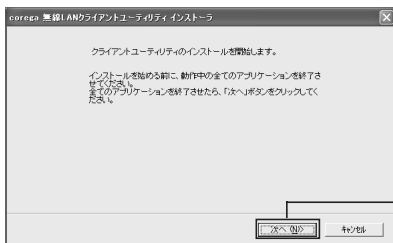
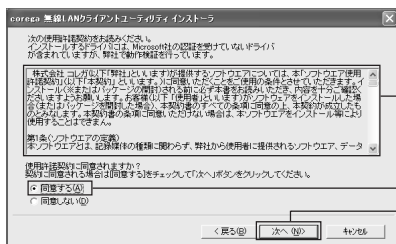
しばらく待っても画面が表示されない場合は、「コンピュータ」（「マイ コンピュータ」）の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

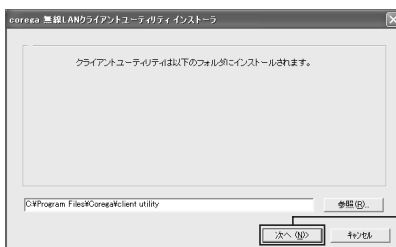
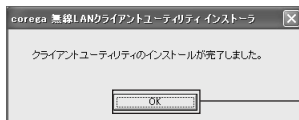
3　［インストール開始］をクリックします。

4　［次へ］をクリックします。

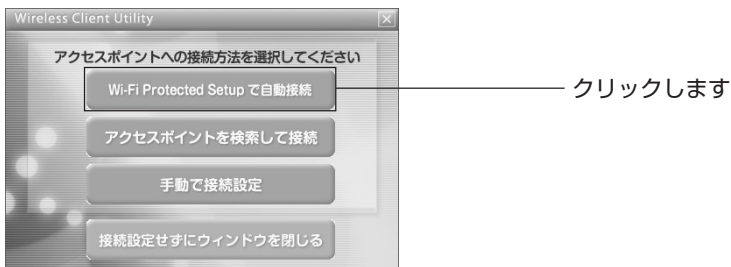
2

5　使用許諾書をご覧になり、「同意する」を選択して、［次へ］をクリックします。

6　次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線LANアダプタを取り付けます。

注意　**無線LANアダプタの取り付け方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。**

7　ドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。
表示されたら［完了］をクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。
引き続きユーティリティのインストールが始まります（P.29）。

8　[次へ］をクリックします。

9　使用許諾書をご覧になり、「同意する」を選択して、[次へ］をクリックします。

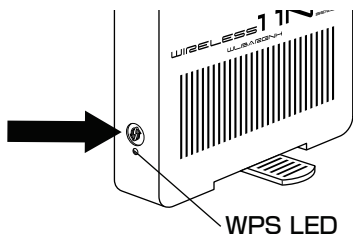
10　[次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティのインストール先を変更する場合は、[参照] をクリックしてインストール先を指定します。

11　クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。画面が表示されたら［OK］をクリックします。

以上でクライアントユーティリティのインストールは完了です。
引き続き「付属の無線LANアダプタを使って接続する（セット品のみ)」（P.30）へ進みます。

●付属の無線 LAN アダプタを使って接続する（セット品のみ）

1　「無線クライアントユーティリティ」インストール直後の画面で［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

・WPS を使わないで接続する場合は、「既存の無線LAN アダプタで接続する」（P.34）をご覧ください。
・この画面は「無線クライアントユーティリティ」のトップ画面から「プロファイルの管理」ー「新規追加」をクリックして表示できます。

2　［プッシュボタンによる接続］をクリックします。

3　次の画面が表示されます。ここでは何もクリックせずに画面をそのままにして、手順４に進みます。

4　本商品前面のWPSボタンを2秒以上押して離し、WPS LEDが緑色に点滅することを確認します。

WPS LEDの動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

クライアント待受中	0.2 / 0.1 / 0.2 / 0.1 / 0.2 / 0.1 / 0.2 ・・・ 秒
WPSボタン2度押し	0.1 ／ 1.0 ／ 0.5 ・・・ 秒
エラー	0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 / 0.1 ・・・ 秒
設定完了	300 秒

（凡例）■：点灯　□：消灯

5　［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

信号を受信しやすいように本商品と無線LANアダプタを取り付けたパソコンを近づけてください。

6　アクセスポイントの検索が始まります。

2分間検索しますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。

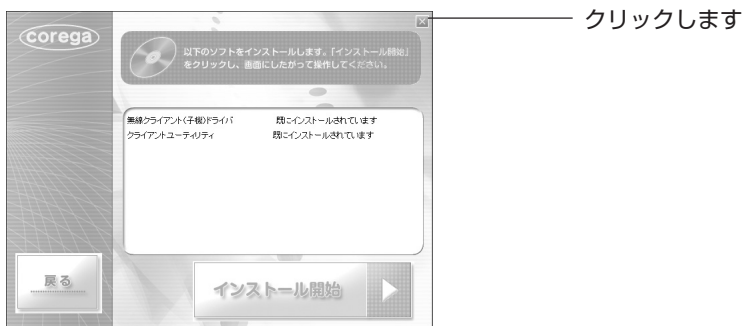
7　引き続き設定の読み込みが始まります。

8　「設定完了」と表示されたら［閉じる］をクリックします。

「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックし、はじめからやり直してください。

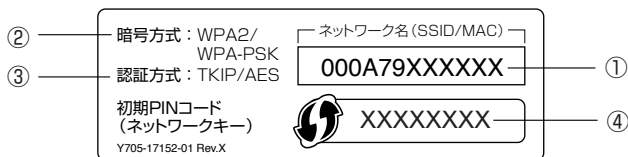
9 「000A79XXXXXXのアクセスポイントに接続しています」と表示されれば接続完了です。画面右上の をクリックして、クライアントユーティリティとインストール画面を閉じます。

メモ **インストール後は、パソコンの画面右下タスクトレイの をクリックすると、クライアントユーティリティを表示させることができます。**

10 画面右上の ボタンをクリックして、画面を閉じます。

以上で、付属の無線LANアダプタでの接続は完了です。

本商品に接続完了後、はじめて本商品でインターネットに接続する場合は、引き続き「PART3　インターネットに接続する」（P.47）へお進みください。

既存の無線LANアダプタで接続する

コレガ製無線LANアダプタ（USB、PCカードなど）、他社の無線LANアダプタをお使いの場合、または各パソコンメーカや周辺機器メーカ独自の無線LAN設定ユーティリティで、本商品に接続する場合は、無線ＬＡＮアダプタに次の項目を設定してください。

①ネットワーク名（SSID、BSSID）	本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載
②暗号方式	WPA2/WPA-PSK（パーソナル）
③認証方式	自動（AES/TKIP）
④共有キー（WPA共有キー）	本体左側面の「初期PINコード（ネットワークキー）」に記載

設定完了後、お使いの無線LAN設定ユーティリティで、本商品に接続できることを確認してください。

本商品に接続完了後、はじめて本商品でインターネットに接続する場合は、引き続き「PART3　インターネットに接続する」（P.47）へお進みください。

Windows Vista/XPの内蔵無線LANで接続する

お使いの環境がWindows Vista/XPで内蔵無線LANを搭載している場合、次の手順で本商品に接続します。この手順はWindows標準の手順方法です。

・Windows Vistaをお使いの場合
→「● Windows Vistaの場合」（P.35）へ

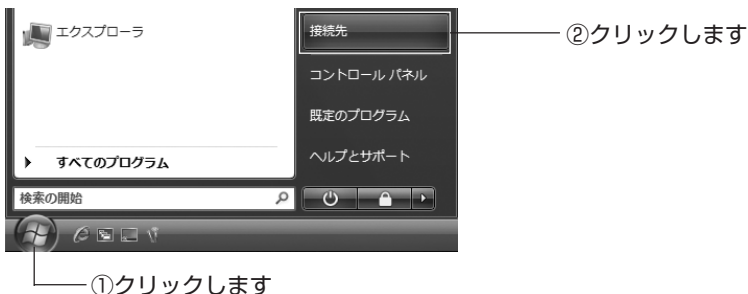
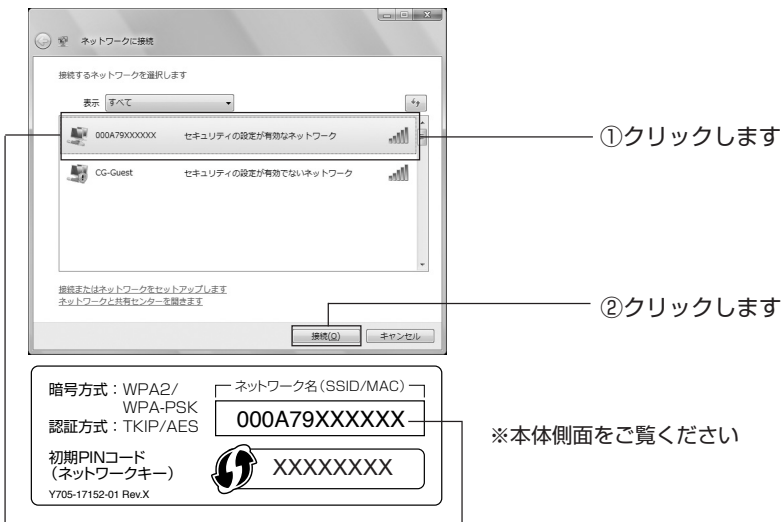
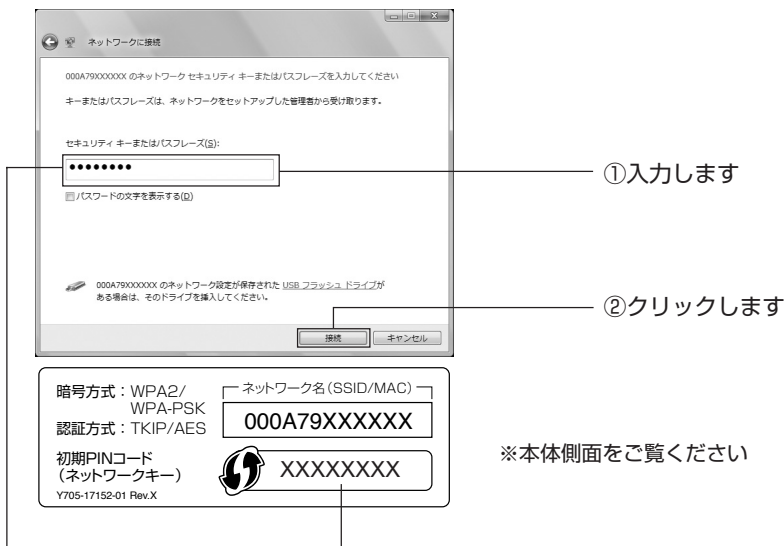
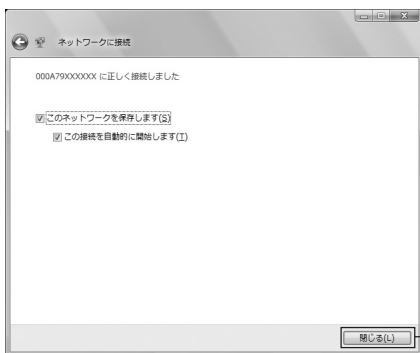
・Windows XP（SP2）をお使いの場合
→「● Windows XP（SP2）の場合」（P.39）へ

・お使いのパソコンによっては、メーカ独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。その場合は、「既存の無線LANアダプタで接続する」（P.34）の情報をもとに、各メーカの取扱説明書をご覧になるか、各メーカへお問い合わせのうえに本商品に接続してください。

お使いのパソコンによっては、備え付けのスイッチで内蔵無線のオン／オフを切り替えられる場合があります。その場合、内蔵無線機能をオンにして本商品に接続してください。

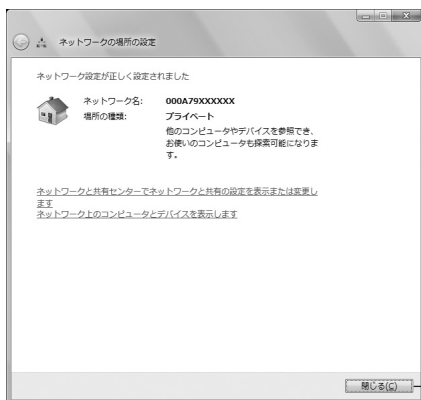
2

● Windows Vistaの場合

1　パソコンの画面左側の［スタート］－「接続先」の順にクリックします。

2　一覧から本商品のSSID（本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC)」をご覧ください）を選択し、［接続］をクリックします。

3　セキュリティキーまたはパスフレーズ（本体左側面の「初期PINコード（ネットワークキー)」をご覧ください）を入力し、［接続］をクリックします。

4 「000A79XXXXXXに正しく接続しました」（XXXXXXは手順2で選択したネットワーク名）と表示されたことを確認して、［閉じる］をクリックします。

「このネットワークを保存します」および「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けると、パソコンを起動したときに自動的にネットワーク接続します。

5 使用場所を選択する画面が表示されます。通常は「家庭」をクリックします。

6 「ユーザアカウント制御」画面が表示されます。「続行」をクリックします。

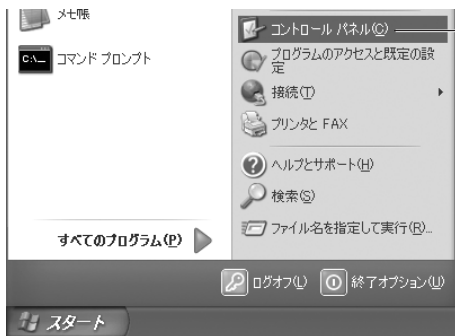
7 「ネットワーク設定が正しく設定されました」と表示されます。[閉じる] をクリックします。

以上で、Windows Vistaの内蔵無線LANでの接続は完了です。

本商品に接続完了後、はじめて本商品でインターネットに接続する場合は、引き続き「PART3　インターネットに接続する」（P.47）へお進みください。

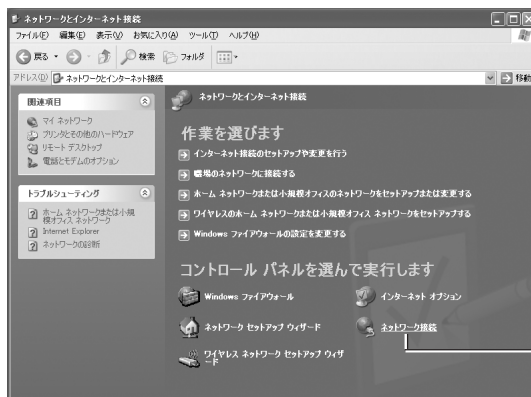
● Windows XP（SP2）の場合

〈接続の前に〉

次の手順で Windows XP の「ワイヤレス ネットワーク」が有効になっていることを確認します。

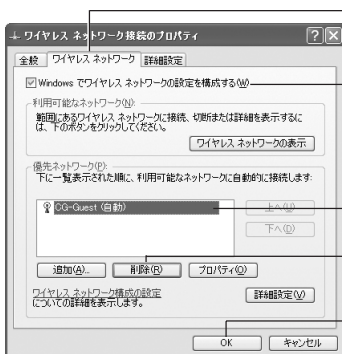
1　パソコンの画面左側の［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

メモ　クラシック表示の場合は、「ネットワーク接続」をクリックして、手順４に進みます。

3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

2

5 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックし、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックを付けて、「優先ネットワーク」に表示された必要でないネットワークを削除してから［OK］をクリックします。

一部メーカパソコンで独自の無線LANユーティリティがインストールされている場合、「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」の項目がないことがあります。そのときは、「既存の無線LANアダプタで接続する」(P.34)の情報をもとに、各メーカにお問い合わせをして本商品に接続してください。

お使いのパソコンで、すでに本商品以外で無線LAN接続をしていて、今後も継続してお使いになる場合は、その項目を残し、それ以外の必要でない項目をすべて削除するまで③〜④を繰り返します。

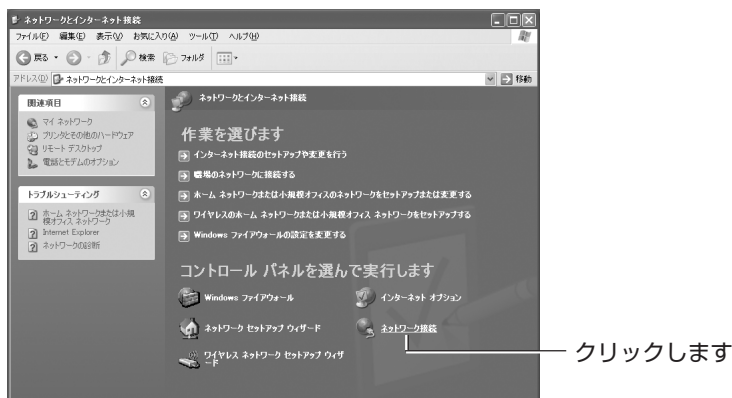
〈接続の手順〉

「接続の前に」の手順を操作したあと、次の手順で本商品と接続してください。

1　「スタート」－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックします。

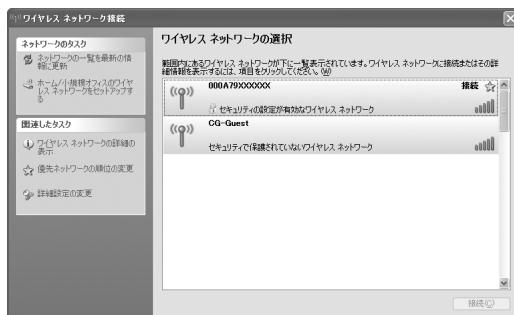
3　「ネットワーク接続」をクリックします。

4 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックし、[ワイヤレス ネットワークの表示] をクリックします。

6 一覧から本商品のSSID（本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC)」をご覧ください）を選択し、[接続] をクリックします。

2

7　セキュリティキーまたはパスフレーズ（本体左側面の「初期PINコード（ネットワークキー）」をご覧ください）を入力し、［接続］をクリックします。

8　接続が完了すると「接続」と表示されます。

以上で、Windows XPの内蔵無線LANでの接続は完了です。

本商品に接続完了後、はじめて本商品でインターネットに接続する場合は、引き続き「PART3　インターネットに接続する」（P.47）へお進みください。

メモ　**以上の手順で本商品に接続できなかった場合は、「●対処方法7」（P.106）をお試しください。**

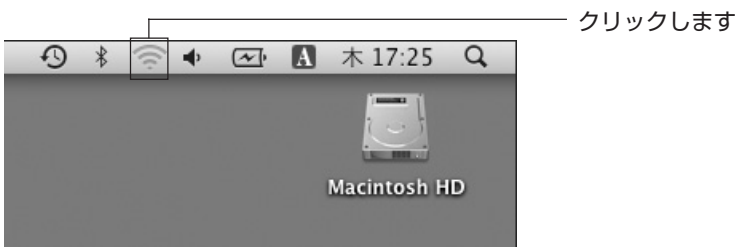
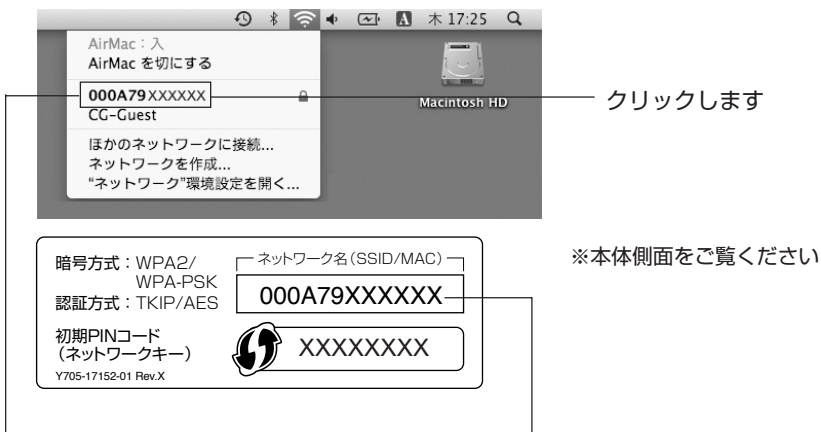
AirMac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する

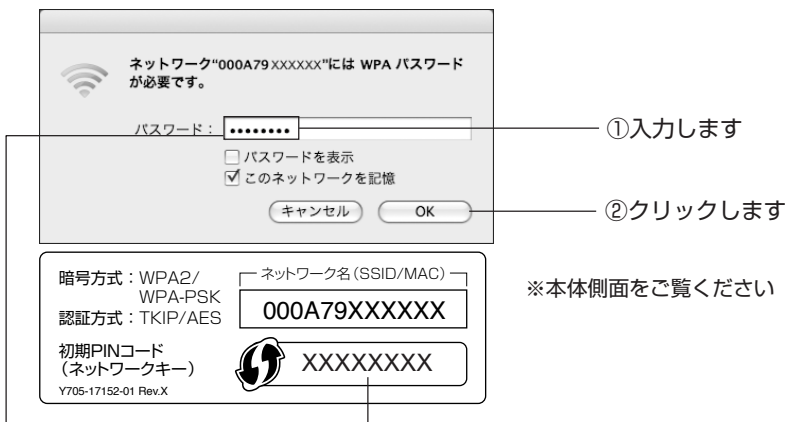
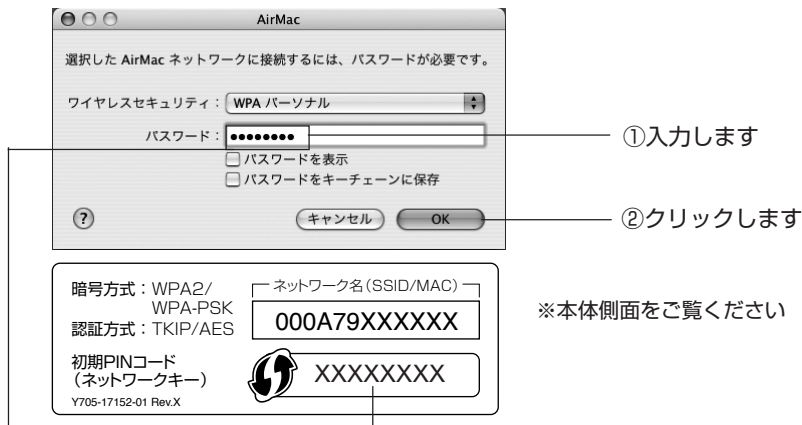
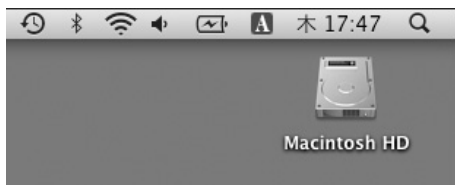
お使いの環境がMacintoshでAirMac（内蔵無線LAN）を搭載している場合は、次の手順で本商品に接続します。

メモ　**画面はMac OS X 10.5の例です。お使いの環境によって多少画面が異なる場合があります。**

2

■接続の手順

1　画面右上のタスクバーにある をクリックします。

2　一覧からルータのSSID（本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC)」をご覧ください）をクリックします。

3　パスワード（「初期PINコード（ネットワークキー）」）を入力し、［OK］をクリックします。

● Mac OS X 10.5の場合

● Mac OS X 10.4の場合

4　接続が完了すると → になります。

以上でAirMac（Macintosh内蔵無線LAN）での設定は完了です。
引き続き、本商品に正しく接続されているかを確認します（P.46）。

■接続の確認

1　画面左上の をクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

2　「ネットワーク」をクリックします。

3　本商品に接続されていることを確認します。

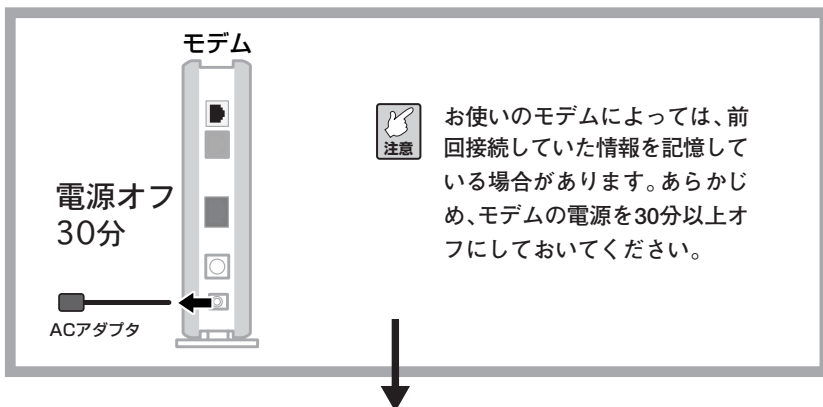
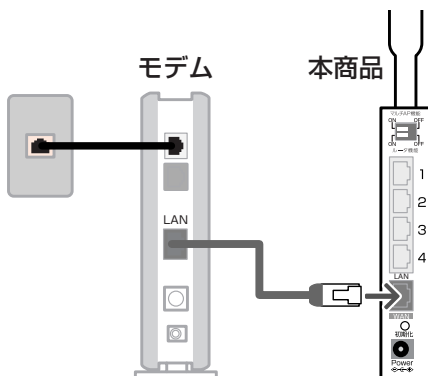
以上で、AirMac（Macintosh の内蔵無線 LAN）での接続は完了です。

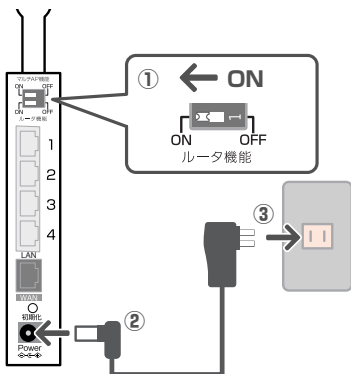
本商品に接続完了後、はじめて本商品でインターネットに接続する場合は、引き続き「PART3　インターネットに接続する」（P.47）へお進みください。

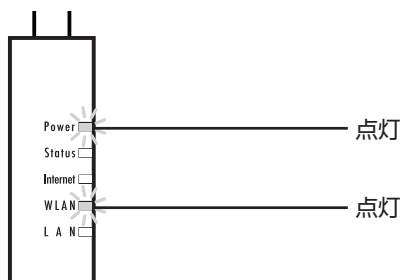
PART3　インターネットに接続する

本商品をモデムに接続する

図のように、本商品をモデム※に接続します。モデムにパソコンを接続して使用していた場合は、モデムの電源を切り、30 分ほど時間を空けてから接続してください。

※ ADSL 回線ではモデム、ケーブルテレビ（CATV）インターネット回線ではケーブルモデム、光ファイバ回線では回線終端装置（ONU）または加入者網終端装置（CTU）などと呼ばれています。

1　モデムのLAN ポートと、本商品のWAN ポート（青）を、LAN ケーブルで接続します。

- モデムのポート名は「LAN」「PC」「パソコン」「ENET」「Ethernet」など、機種によって異なります。
- 本商品とモデムなどの通信機器は、電波干渉によって動作に影響がでる場合もありますので、なるべく 30cm 以上離して設置してお使いください。

2　本商品背面のルータ機能スイッチが「ON」になっていることを確認し、同梱の専用ACアダプタを接続し、本商品の電源を入れます（②、③）。

・必ず本商品に同梱の専用ACアダプタをお使いください。同梱のACアダプタ以外は本商品に接続しないでください。
・本商品に同梱の専用ACアダプタは、本商品以外に接続しないでください。

3　前面のPower LEDが点灯し、しばらくするとStatus LEDが点滅→消灯と変わり、WLAN LEDが点灯して、本商品が起動したことを確認します。

本商品が起動するまでに2分ほどかかります。本商品の起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で、本商品とモデムの接続は完了です。

すでに「PART2 無線LANで接続する」で、本商品と接続済みの場合は、引き続き、「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）をご覧になり、本商品の設定をしてインターネットに接続します。
無線LANを使わずに本商品をインターネットに接続してお使いになる場合は、「● LANケーブルで接続して本商品の設定をする」（P.49）をご覧ください。

・無線LANでインターネットに接続する
　→「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）

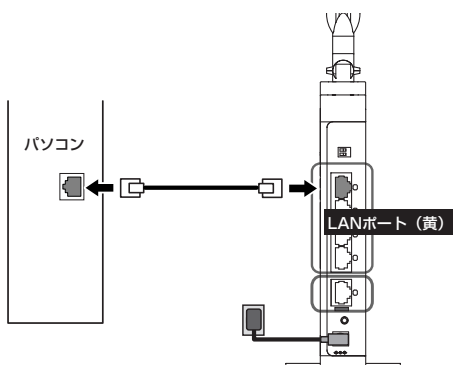
・LANケーブルを使ってインターネットに接続する
　→「● LANケーブルで接続して本商品の設定をする」（P.49）

複数台のパソコンをお持ちの場合は、はじめの1台のみ「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）をご覧になり、ルータを設定します。2台目以降のパソコンは、本商品を設定する必要はありません。

●LAN ケーブルで接続して本商品の設定をする

本商品に無線LANで接続せずに、LANケーブルで接続して本商品の設定をする場合は、以下の手順で本商品とお使いのパソコンを接続します。

本商品とパソコンを接続するケーブルは、エンハンスド・カテゴリ5以上のUTP ケーブルをお使いください。

すでに無線LAN で本商品に接続している場合は、この手順は必要ありません。

本商品のLAN ポート（黄）のいずれかにLAN ケーブルを接続し、パソコンと接続します。

以上で、本商品とお使いのパソコンとの接続は完了です。
本商品とモデムがすでに接続されている場合は、「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）をご覧になり、本商品の設定をして、インターネットに接続します。
また、本商品とモデムの接続が終わっていない場合は、「本商品をモデムに接続する」（P.47）をご覧になり、本商品とモデムを接続してから、本商品の設定をします。

複数台のパソコンをお持ちの場合は、はじめの1台のみ「本商品をお使いの環境に合わせて接続する」（P.50）をご覧になり、本商品を設定します。2台目以降のパソコンは、本商品を設定する必要はありません。

本商品をお使いの環境に合わせて接続する

本商品に接続した１台のパソコンから設定します。

- 設定する前にご契約のプロバイダから送付された書類をご用意ください。
- ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、本商品を正しく設定できない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。
- パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しくは、「パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認する」（P.92）をご覧ください。
- Internet ExplorerまたはSafariで、プロキシサーバを使っていないことを確認してください。詳しくは、「プロキシサーバを使用していないことを確認する」（P.87）をご覧ください。

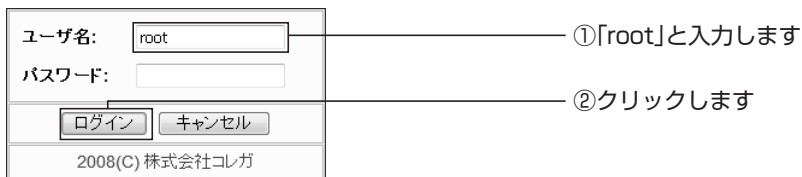
1　パソコンからInternet ExplorerまたはSafariを起動し、設定画面を表示します。

お使いのパソコンが広帯域接続またはプロバイダからの接続ツールを使用してインターネットに接続していた場合、設定画面が表示されない場合があります。その場合は、「設定画面が表示されない」（P.76）をご覧ください。

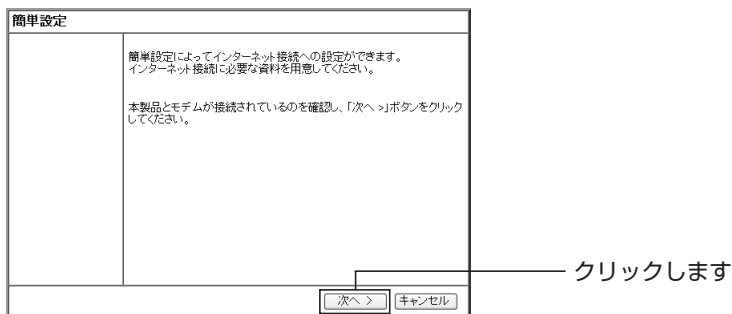
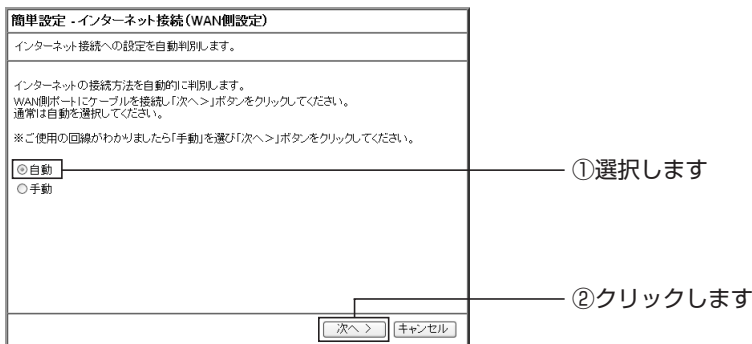
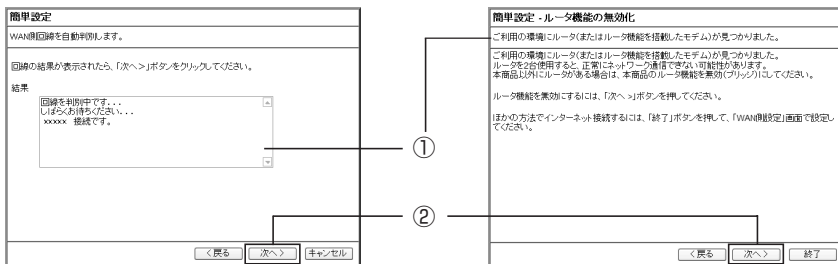
- 設定画面が表示されない場合はアドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、Enterキーまたはreturnキーを押します。

入力します

- Internet Explorer 7をお使いの場合は次のメッセージが表示されることがありますがそのままお進みください（弊社で動作を確認しております）。

2　ユーザ名に「root」と入力し、パスワードに何も入力しないで［ログイン］をクリックします。

3　画面左側のメニューから「簡単設定」をクリックします。

4　［次へ］をクリックします。

3

5　「自動」を選択して、[次へ] をクリックします。

6　お使いの回線の自動判別を開始し、結果が表示されます（お使いの環境によっては時間がかかる場合があります）。結果によって表示内容が異なり、次のどちらかの画面が表示されます。表示されない場合は、画面に従ってください。

①自動判別の結果が表示されるまで待ちます。

②［次へ］をクリックします。

③自動判別の結果によって設定内容が異なります。お使いの環境に合わせて本書を読み進めます。

●「DHCP 接続」と表示された
　→手順 7（P.56）へ

●「PPPoE 接続」と表示された
　→「■ PPPoE 接続の場合」（P.53）へ

●「ルータ機能を搭載した機器が存在する」と表示された
　→「■ほかにルータがある場合」（P.54）へ

■ PPPoE接続の場合

①プロバイダから送付された書類をご覧になり、「接続ユーザ名」、「接続パスワード」を入力して［次へ］をクリックします。

- **接続ユーザ名、接続パスワードは、プロバイダによって名称が異なります（認証IDなど）。プロバイダから送付された書類をご覧になり、入力してください。**
- **NTTフレッツ回線をご利用の場合は、接続ユーザ名は「XXXX@XXX.XX.XX」（画面は例です）となります。**

②「フレッツ・スクウェア」を利用する場合は「東日本」または「西日本」を選択し、［次へ］をクリックします。

※ NTT・フレッツシリーズの回線以外は、「利用しない」を選択してください。

③手順7（P.56）へ進みます。

3

■ほかにルータがある場合

ルータ機能付きモデムなど本商品以外にルータ機能を内蔵した機器がある場合は、本商品のルータ機能を無効にします。

①本商品のIPアドレスを変更します。変更後のIPアドレスをメモに控え、[お気に入りに登録] ー [保存] の順にクリックします。

②次の画面が表示されます。[OK] をクリックし、再起動します。

設定後は、本商品のIPアドレスが変更されます。Internet Explorerをお使いの場合は、「お気に入り」のリンクから設定画面を開いてください。Safariをお使いの場合は、変更後のIPアドレスを入力して設定画面を開いてください。

③再起動が完了するまでしばらく待ちます。

④再起動が完了すると、次の画面が表示されます。[OK] をクリックします。

⑤ログイン画面に戻ります。アドレスが変更されていることを確認します。

注意 アドレスが①のメモに控えた値に変更されています。以降は、表示されたアドレスでログイン画面を表示します。

⑥手順９（P.58）へ進みます。

3

7　［保存］をクリックし、接続テストを実行します。

8　接続テストが正常に完了したことを確認し、［終了］をクリックします。

● DHCP 接続テストの場合

3

● PPPoE 接続テストの場合

接続テストが正常に完了しなかった場合は、①に表示される内容を参考に設定をご確認ください。

- ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロックサービス」(コンテンツフィルタリング)の詳しい説明は、画面のバナーをクリックしてください。また、同梱の「コンテンツフィルタリングで安心インターネット」もあわせてご覧ください(コンテンツフィルタリングは、ルータ機能を無効にすると利用できません)。
- ダイナミック DNS やバーチャルサーバ(ポート開放)の設定を続ける場合は、この画面の[詳しい説明書を入手する]をクリックし、「詳細設定ガイド」(PDF マニュアル)をダウンロードして、設定してください。

3

9　Internet ExplorerまたはSafariを起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」を入力し、Enterキーまたはreturnキーを押します。

10　コレガホームページが表示されたことを確認します（画面は2008年6月現在のものです）。

以上でインターネットへの接続が完了しました。

引き続き、2台目のパソコンやネットワーク家電などのネットワーク機器を接続する場合は、「複数のネットワーク機器を本商品に接続する」（P.64）をご覧ください。

ダブルチャンネルで高速通信をするには

本商品は「ダブルチャンネル」と「ショートガードインターバル」を設定し、20MHz幅のチャンネルを2つに束ねて使用することで、IEEE802.11n（ドラフト）の300Mbps（理論値）の通信速度に対応します。

本機能を使用することで、近隣の無線LANネットワーク（IEEE802.11g/b）の通信速度が低下することがあります。

●動作環境について

IEEE802.11n（ドラフト）で300Mbps（理論値）の通信速度を実現するには、次の環境が必要です（※1）。

ダブルチャンネルが利用できる無線アダプタ

本商品とのセット品	コレガの無線アダプタ（子機）
・CG-WLBARGNH-P（CG-WLCB300GNM） ・CG-WLBARGNH-U（CG-WLUSB300GNM）	・CG-WLCB300GNM ・CG-WLUSB300GNM ・CG-WLCB300AGN ・CG-WLUSB300AGN ・CG-WLCB300GNS（※2） ・CG-WLUSB300GNS（※2） ・CG-WLCB144GNL（※3） ・CG-WLUSB2GNL（※3）

※1　2008年6月現在の対応機種です。新しく発売される製品の300Mbps対応については、コレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

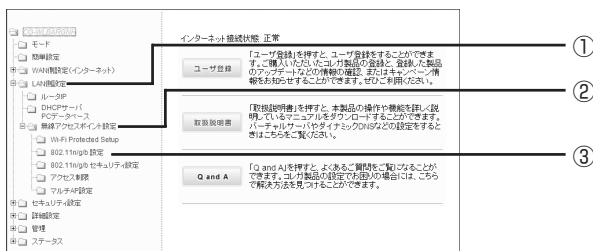
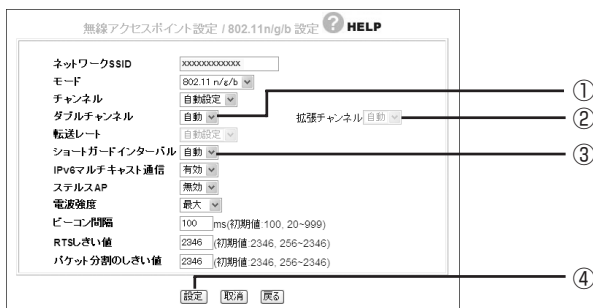
※2　CG-WLCB300GNS、CG-WLUSB300GNSは、受信が300Mbps、送信が150Mbpsでの対応になります。

※3　お使いのCG-WLCB144GNL、CG-WLUSB2GNLが300Mbps対応版の場合は、300Mbps（理論値）に対応します。

4

ダブルチャンネルは、次の手順で設定します。

1　ダブルチャンネルを設定する設定画面を表示します。

設定画面を表示し、画面左側のメニューで「LAN設定」－「無線アクセスポイント設定」－「802.11n/g/b設定」の順にクリックします。

2　次のように設定します。

①「ダブルチャンネル」で、「自動」を選択します。
②「拡張チャンネル」が表示されることを確認します。
③「ショートガードインターバル」が「自動」になっていることを確認します。
④［設定］をクリックします。

「拡張チャンネル」は、40MHz幅の通信が有効になったときに使用する「チャンネル」に合わせて自動的に設定されます（「拡張チャンネル」は手動では設定できません）。

3　画面更新後に画面右上の［ログアウト］をクリックします。

4　本商品の電源を入れ直します。

以上でダブルチャンネルの設定は完了です。

●子機（無線LANアダプタ）の設定について

子機（無線LANアダプタ）は、本商品に合わせて、自動的に適切な速度に設定されます。「ダブルチャンネル」や「ショートガードインターバル」などの設定をする必要はありません。

エコピタ LED 消灯モードを設定するには

本商品の前面のLEDランプを常時消灯にしておくことで、夜間でもまぶしさが気にならず、消費電力も抑えることができます。次の手順で設定してください。

1　設定画面を表示し、画面左側のメニューで「管理」をクリックし、「フロントLED」の［有効］（初期値）と表示されたボタンをクリックします。

2　「フロントLED」が［無効］と変わったことを確認します。

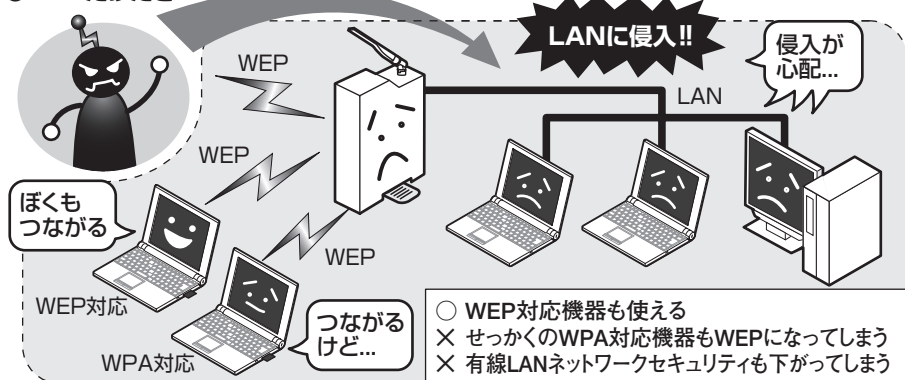
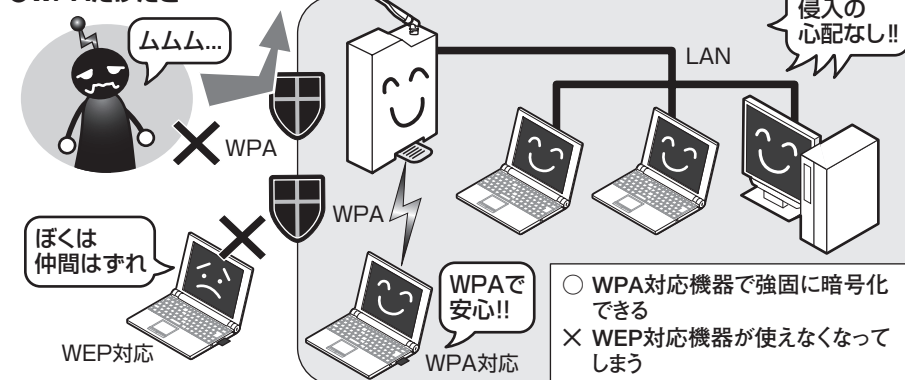
以上で、エコピタ LED モードの設定は終了です。

エコピタLEDモードを設定すると、本商品の前面のLEDが「Power LED（橙）」を残して、すべて消灯します。再起動など、一部の機能を除きLEDは動作しません。

マルチ AP 機能を使う

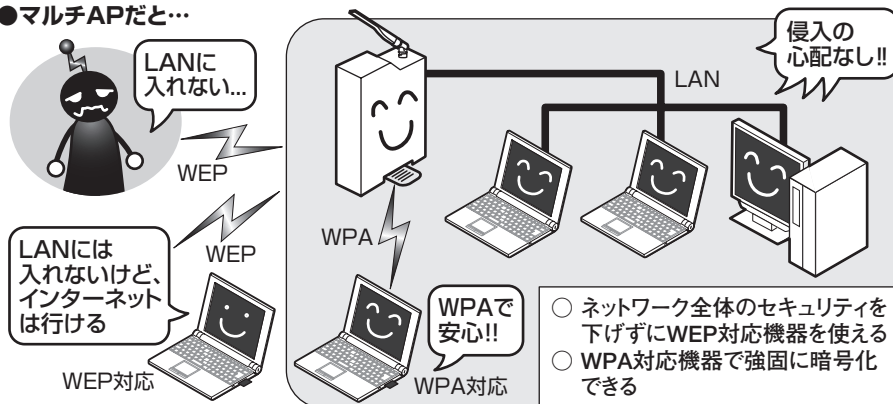
■ WEP のぜい弱性とマルチ AP 機能

「WEP（Wired Equivalent Privacy）」は、802.11b のころから広く使われている暗号方式ですが、近年さまざまなぜい弱性が発見され、十分なセキュリティを維持できなくなっています。

現在より強固な「WPA（Wi-Fi Protected Access）」や「WPA2」が採用されていますが、WEPにしか対応しない機器がまだまだたくさん存在します。そのため、せっかくWPAに対応した機器を持っていても、WEP 対応機器を混在させるには無線 LAN セキュリティを下げる必要があり、不安を抱えていました。

「WEP 対応機器をインターネットに接続したいけど、ネットワーク全体のセキュリティは下げたくない！」そのような要望を満たすために、本商品は「マルチAP機能」という、SSID を 1 つ増やす機能を搭載しました。

■マルチ AP 機能の利点

マルチ AP 機能では、通常の SSID（ファースト SSID）に加えて、セカンド SSID を使用できます。ファースト SSID では WPA2 の高度な暗号化を設定しつつ、セカンド SSID ではWEPを設定できます。セカンドSSIDはインターネット接続以外の通信を遮断しているため、LAN に侵入される心配はありません。LAN 全体のセキュリティを確保しながら、WEP 対応機器をインターネットに接続できます。

●マルチAPだと…

マルチ AP 機能は、WEP のみ対応するニンテンドー DS のような携帯ゲームなどでインターネットに接続する場合に最適です。

メモ
- ・本商品のルータ機能がオフの場合、マルチ AP 機能は使用できません。
- ・セカンド SSID では UPnP 機能は使用できません。

■マルチ AP 機能スイッチについて

マルチ AP 機能スイッチでマルチ AP 機能の状態を切り替えられます。マルチ AP 機能と、ファースト SSID/ セカンド SSID には次のような違いがあります。

マルチAP機能スイッチの状態	SSID	インターネット接続	設定画面表示	LAN接続	対応する無線LANセキュリティ
← ON ON [スイッチ] OFF	ファーストSSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPS、WEP（64/128bit）
	セカンドSSID	○	×	×	WEP（64/128bit）
OFF → ON [スイッチ] OFF	ファーストSSID	○	○	○	WPA2/WPA-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPS、WEP（64/128bit）

マルチ AP 機能の設定方法については、「●ニンテンドー DS を接続する」（P.72）をご覧ください。

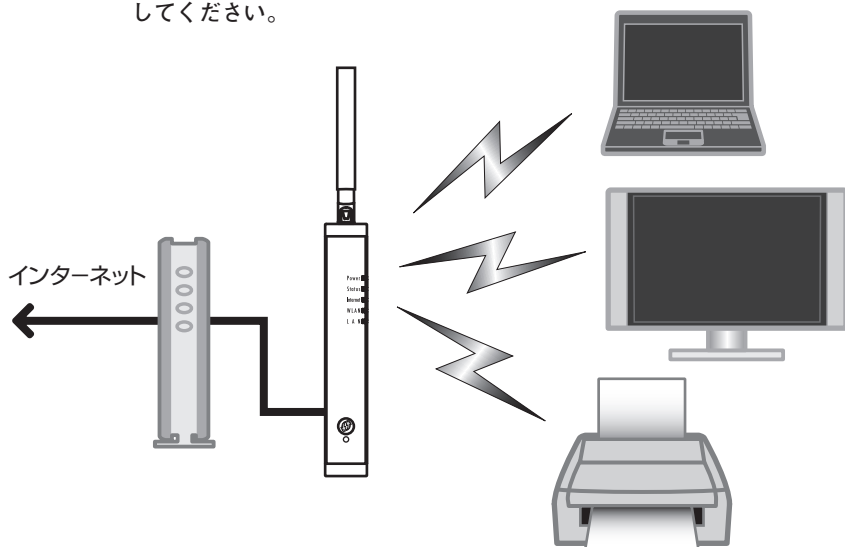
複数のネットワーク機器を本商品に接続する

お使いのネットワーク機器が複数ある場合は、本商品を使ってインターネットに接続したことを確認したあとに、次の手順で接続します。

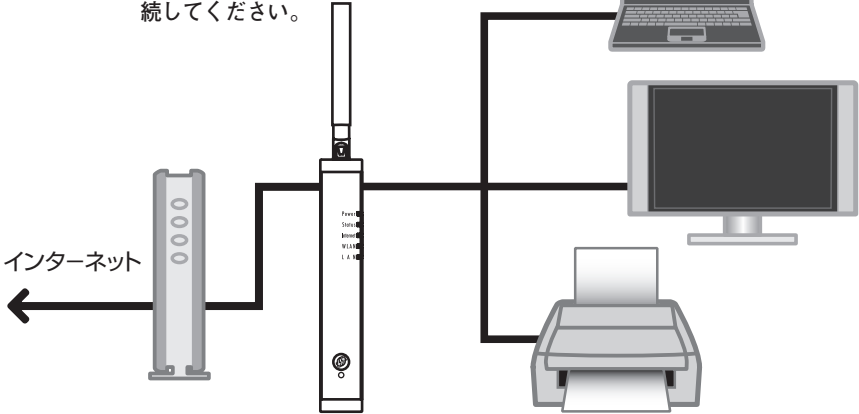
無線LANで接続する

→「既存のLANアダプタで接続する」（P.34）
→「Windows Vista/XP内蔵無線LANで接続する」（P.35）
→「Air Mac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する」（P.44）

- 複数台のパソコンをお持ちの方は、はじめの一台のみ「PART3　インターネットに接続する」（P.47）をご覧になり、ルータを設定します。2台目以降のパソコンは、ルータの設定をする必要はありません。
- 本商品にパソコン以外のお使いのネットワーク機器を接続する場合は、接続するネットワーク機器の取扱い説明書をご覧になり、本商品に接続してください。

4

LANケーブルで接続する

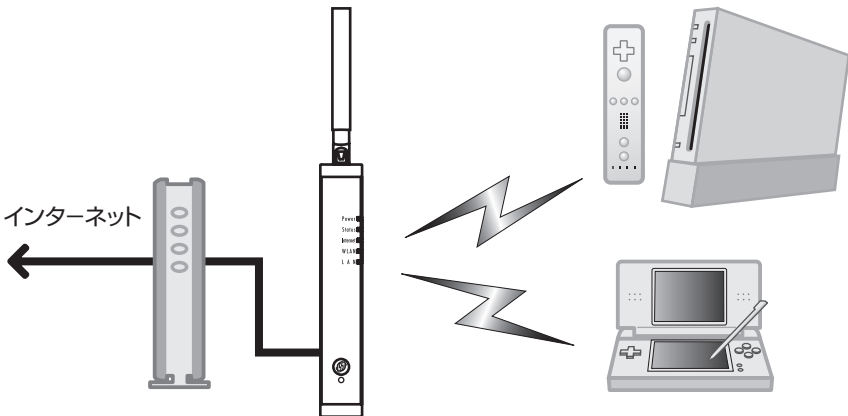
→「複数のネットワーク機器をLANケーブルで接続する」（P.66）

- **複数台のパソコンをお持ちの方は、はじめの一台のみ「PART3　インターネットに接続する」（P.47）をご覧になり、ルータを設定します。2台目以降のパソコンは、ルータの設定をする必要はありません。**
- **本商品にパソコン以外のお使いのネットワーク機器を接続する場合は、接続するネットワーク機器の取扱い説明書をご覧になり、本商品に接続してください。**

ゲーム機を接続する

→「ゲーム機を接続する」（P.67）

●Wiiを接続する（P.67）

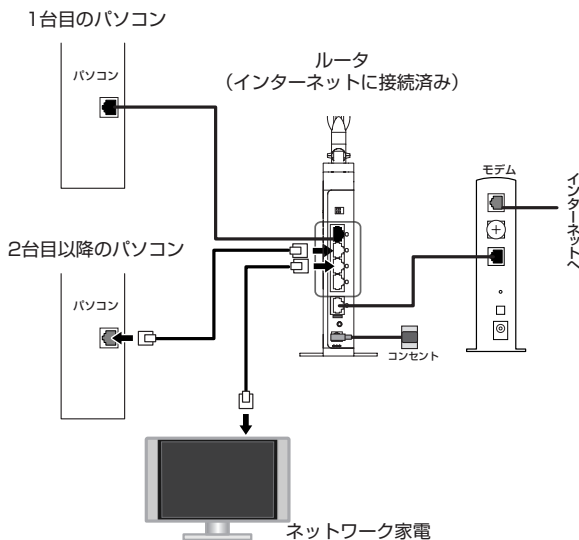
●ニンテンドーDSを接続する（P.72）

4

●複数のネットワーク機器をLANケーブルで接続する

次の図のように、2台目以降のパソコンのLANポートと本商品のLANポートを、LANケーブル（別売り）で接続します。

- ・ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、本商品を正しく設定できない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。
- ・パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認してください。詳しくは、「パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることを確認する」（P.92）をご覧ください。
- ・お使いのパソコンがプロキシサーバを使っていないことを確認してください。詳しくは、「プロキシサーバを使用していないことを確認する」（P.87）をご覧ください。
- ・本商品とパソコンを接続するケーブルは、エンハンスド・カテゴリ5以上のUTPケーブルをお使いください。

■複数のネットワーク機器の接続例

1台目のパソコン
パソコン
ルータ
（インターネットに接続済み）
モデム
インターネットへ
2台目以降のパソコン
パソコン
コンセント
ネットワーク家電

以上で、複数のネットワーク機器の接続は完了です。

4

ゲーム機を接続する

ゲーム機を本商品に接続します。各ゲーム機で使用できるセキュリティは、次の表で確認してください。

ゲーム機	設定可能セキュリティ
PLAYSTATION3	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK, WPA2-PSK
PSP	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK
Xbox360	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK
Wii	WEP 64bit/128bit, WPA-PSK, WPA2-PSK
ニンテンドーDS※	WEP 64bit/128bit

※ニンテンドーDSはWPA-PSKが使えないため、マルチAP機能を使ってセカンドSSIDに接続することをお勧めします（P.72）。

- ゲーム機によっては接続がSharedKeyであったり、暗号キーがASCII文字では接続できない場合があります。その場合は、ほかのセキュリティを試してください。
- ゲームの操作方法などは、各ゲーム機器の取扱説明書、または各メーカにお問い合わせください。

WEPに設定できる文字は、64bit-16進数（0-9/a-f）、128bit-16進数（0-9/a-f）、64bit-ASCII（半角英数記号）、128bit-ASCII（半角英数記号）です。

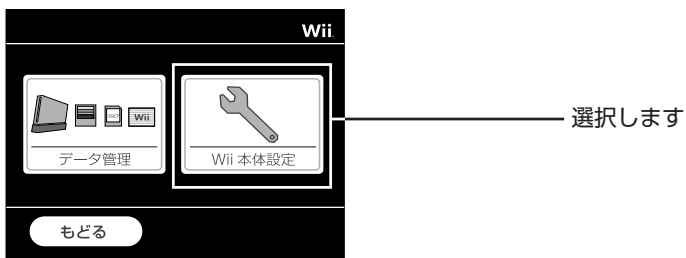
● Wiiを接続する

本商品にゲーム機を接続する方法の例として、「Wii」での接続を説明します。

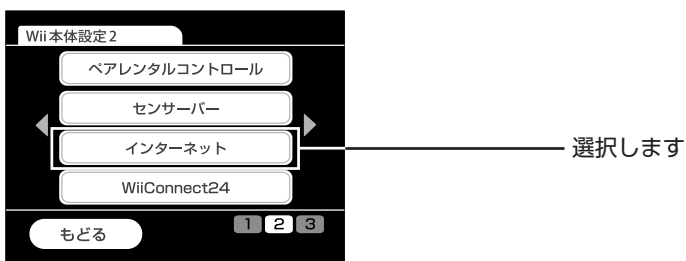
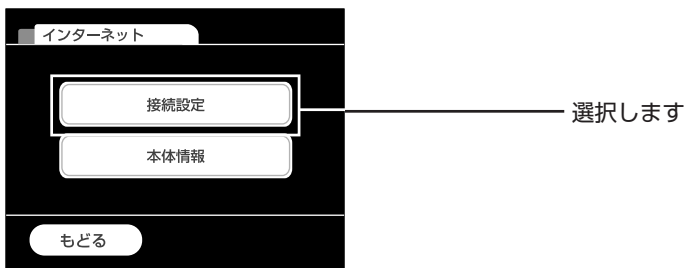
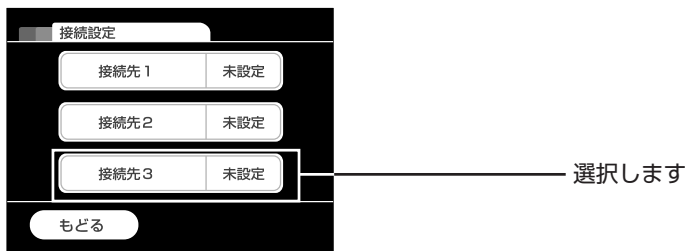
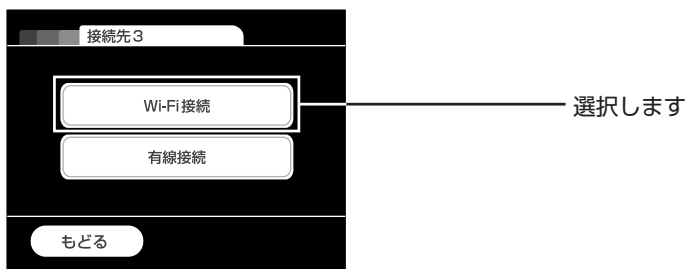
1　Wiiの電源を入れ、Ⓐボタンを押します。

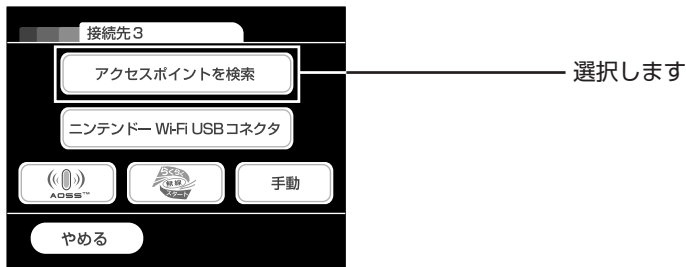
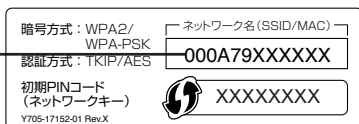
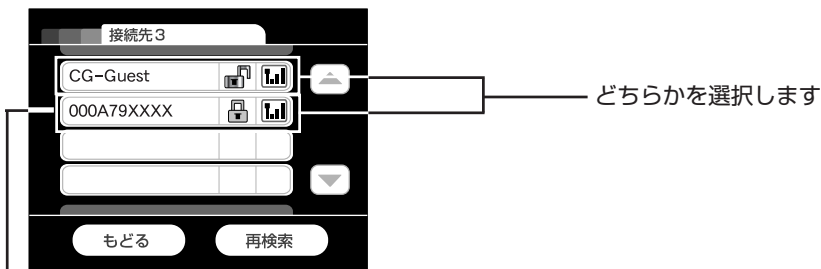
2　[Wii]（「Wiiオプション」）を選択し、Ⓐボタンを押します。

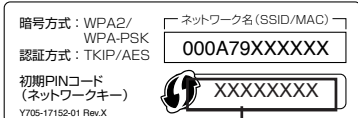
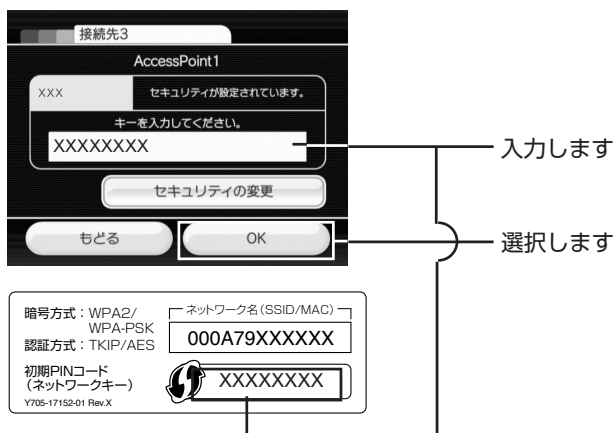
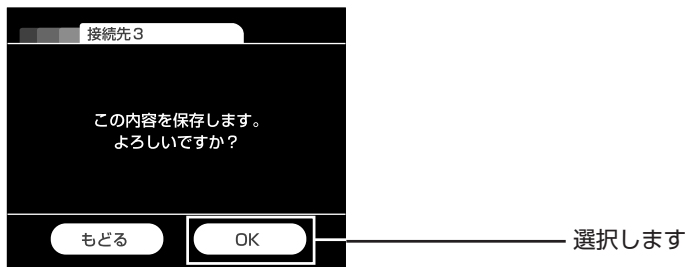
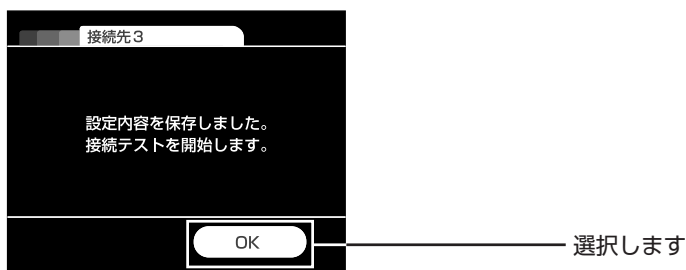
選択します

3 ［Wii 本体設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

4 ［インターネット］を選択し、Ⓐボタンを押します。

5 ［接続設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

4

6　「未設定」の［接続先］を選択し、Ⓐボタンを押します。

7　［Wi-Fi 接続］を選択し、Ⓐボタンを押します。

8　［アクセスポイントを検索］を選択し、Ⓐボタンを押します。

4

9　一覧の中から本商品のSSID（本体の左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC）」をご覧ください）または「CG-Guest」を選択し、Ⓐボタンを押します。

- **CG-GuestはマルチAP機能を使用して、セカンドSSIDに接続するときに選択します（P.62）。**
- **本商品のSSIDを選択すると、セキュリティキーを入力する画面が表示されます。キー（本体左側面の「初期PINコード」をご覧ください）を入力して、［OK］を選択し、Ⓐボタンを押します。**

4

10 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されます。[OK]を選択し、Ⓐボタンを押します。

11 ［OK］を選択し、Ⓐボタンを押します。

12 「Wii本体を更新しますか？」と表示されます。［はい］を選択し、Ⓐボタンを押します。

接続に失敗している場合は、正しいSSIDを選択していないか、「初期PINコード（ネットワークキー）」を誤って入力している可能性があります。手順6からやり直してください。

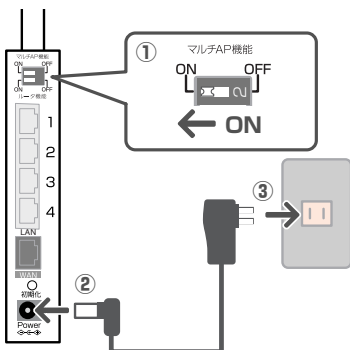
以上で設定は完了です。

4

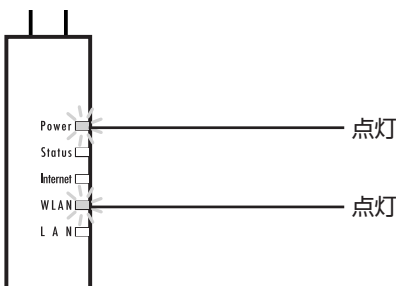
●ニンテンドー DS を接続する

ニンテンドーDS に対応しているセキュリティは「WEP」のみです。使えるセキュリティが「WEP」のみの場合は、「マルチ AP」を使うと便利です。ここでは、「マルチ AP」を使う例として、ニンテンドーDSでインターネット接続する方法を説明します。マルチAPの詳しい説明は、「マルチ AP 機能を使う」（P.62）をご覧ください。

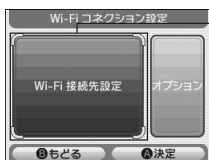
マルチ AP 機能スイッチは、必ず本商品の電源を切った状態で操作してください。

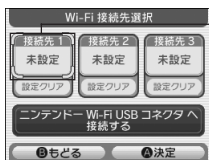
1　本体背面のマルチ AP 機能スイッチが「ON」になっていることを確認し、同梱の専用 AC アダプタを接続し、本商品の電源を入れます。

- **必ず本商品に同梱の専用 AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は本商品に接続しないでください。**
- **本商品に同梱の専用 AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**

2　前面の Power LED が点灯し、しばらくすると Status LED が点滅→消灯と変わり、WLAN LED が点灯して、本商品が起動したことを確認します。

4

3　ニンテンドーDSを起動して、「Wi-Fi」または「Wi-Fiせってい」をタッチして「Wi-Fi コネクション設定」を表示します。

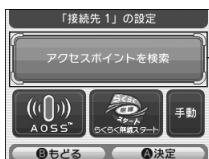
ゲームソフトによって「Wi-Fi コネクション設定」を表示する手順が異なります。お使いのゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

4　［Wi-Fi 接続先設定］をタッチします。

タッチします

5　「未設定」の接続先をタッチします。

タッチします

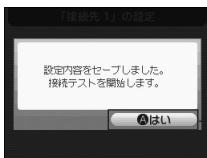
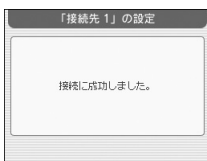
6　［アクセスポイントを検索］をタッチします。

タッチします

4

7　一覧の中から「CG-Guest」をタッチします。

・セカンドSSIDのネットワーク名を「CG-Guest」から変更した場合は、変更後の値をタッチしてください。

・🔒が表示されている場合は、WEPキー入力画面が表示されます。設定しているWEPキーを入力します。

8　[はい] をタッチし、接続テストを始めます。

9　「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。

接続に失敗した場合は、正しいSSIDをタッチしていないか、またはWEPキーを誤って入力している可能性があります。手順5から設定をやり直してください。

トラブル解決とQ&A

このPARTでは、お客様からトラブルのときによくお問い合わせのある質問を記載しています。回答が記載されていない場合は「トラブル・疑問が解決しないときは」(P.114)をご覧になり、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

本商品（ルータ）のトラブル

よくあるトラブルと対処方法を説明します。

! 電源が入らない

電源が入らない、Power LEDが点灯しないときは、次の内容を確認してください。

●対処方法

ACアダプタのケーブルに断線がないか、ACアダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。「保証と修理について」(P.116)をご覧になり修理を依頼してください。

! LEDが消灯する

本体前面のPower LEDが橙色で、他のLEDが消灯しているときは、「エコピタLED消灯モード」になっています。詳しくは、「エコピタLED消灯モードを設定するには」(P.61)をご覧ください。

設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の内容を確認してください。

●対処方法 1

「セキュリティソフトを停止する」→ P.77

●対処方法 2

「OS のファイアウォール機能を無効にする」

・Windows Vista の場合 → P.78
・Windows XP SP2 の場合 → P.80

●対処方法 3

「ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する」→ P.83

●対処方法 4

「Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する」→ P.85

●対処方法 5

「プロキシサーバを使用していないことを確認する」

・Windows の場合 → P.87
・Macintosh の場合 → P.89

●対処方法 6

「パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する」

・Windows Vista の場合 → P.92
・Windows XP の場合 → P.95
・Windows 2000 の場合 → P.99
・Windows Me/98SE の場合 → P.101
・Macintosh の場合 → P.104

●対処方法 7

「Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールする」→ P.106

●対処方法 8

「セカンド SSID 以外で本商品に接続する」→ P.106

●対処方法 1
セキュリティソフトを停止する

セキュリティソフトが動作していると、本商品の設定ができないことがあります。本商品を設定するときは、一時的にセキュリティソフトの動作を停止させてください。

本商品の設定が終了したら、セキュリティソフトを元に戻してください。
セキュリティソフトの停止方法、再開方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧いただくか、ソフトウェアメーカへお問い合わせください。
なお、ご購入時にセキュリティソフトがインストールされていた場合は、パソコンメーカへお問い合わせください。

●対処方法２
「OS のファイアウォール機能を無効にする」
・Windows Vista の場合　→ P.78
・Windows XP（SP2）の場合　→ P.80

・Windows Vista の場合

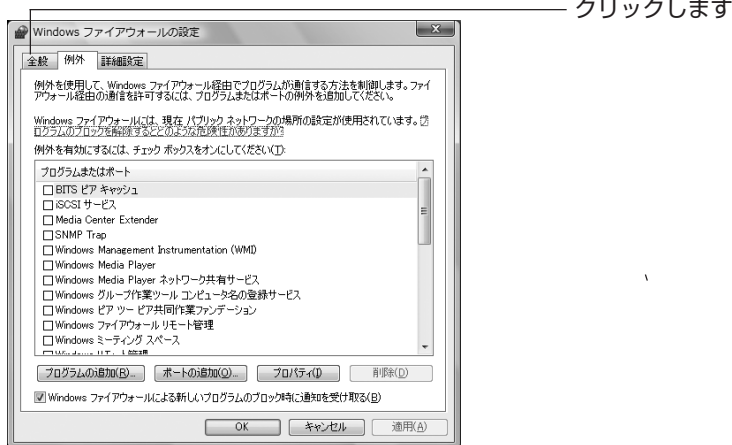
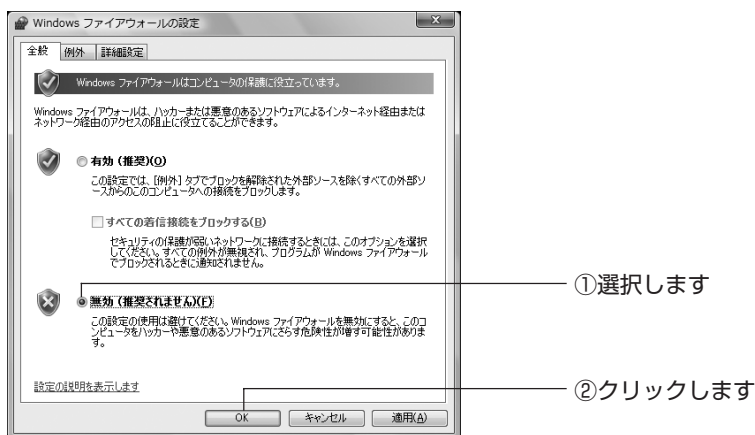
次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「コントロールパネル」が表示されます。「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」をクリックします。

下記のようにクラシック表示の場合は、「コントロールパネルホーム」をクリックすると手順２の画面が表示されます。

3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。［続行］をクリックします。

4 「全般」タブをクリックします。

5 「無効（推奨されません）」を選択して、［OK］をクリックします。

以上でファイアウォールが無効になりました。

本商品の設定が終了したら､必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

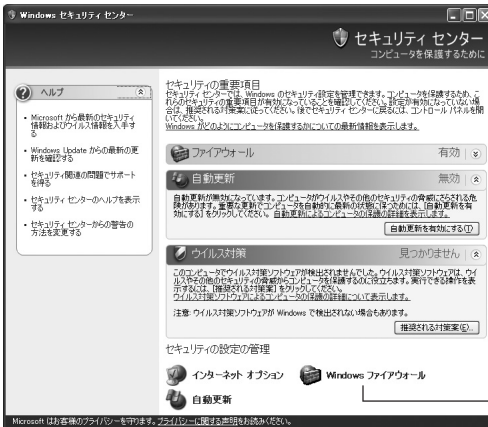
・Windows XP SP2 の場合

次の手順で、OS のファイアウォール機能を無効にしてください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」の順にクリックします。

2　「コントロールパネル」が表示されます。「セキュリティセンター」をクリックします。

下記のようにクラシック表示の場合は、「セキュリティセンター」をダブルクリックします。

3 「Windows ファイアウォール」をクリックします。

4 「無効（推奨されません)」を選択して、[OK] をクリックします。

以上でファイアウォールが無効になりました。

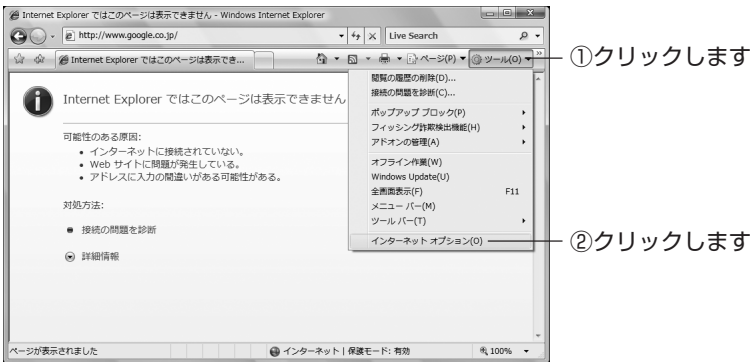
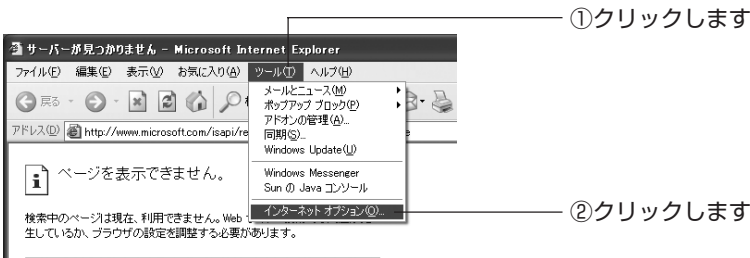
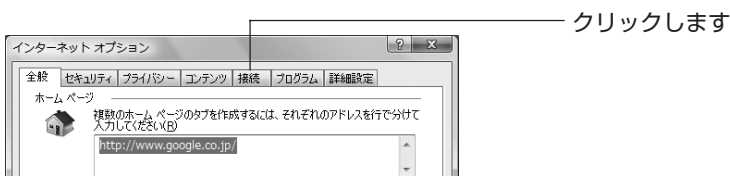
本商品の設定が終了したら、必ずファイアウォールの設定を元に戻してください。

●対処方法３
ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認する

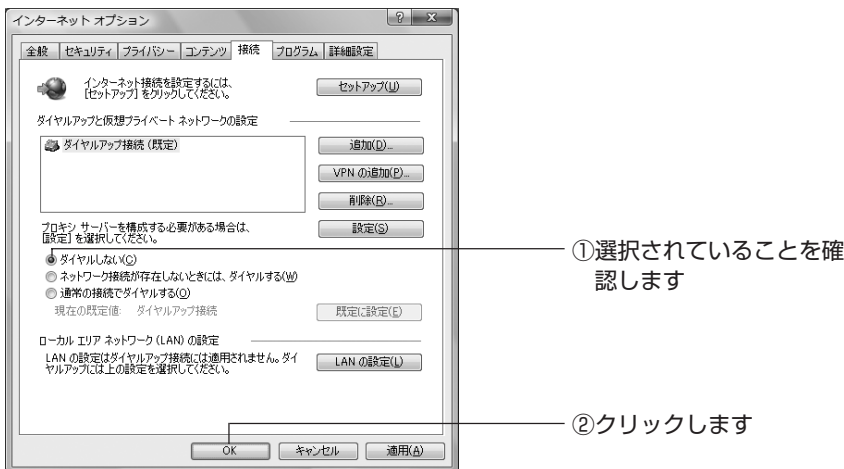
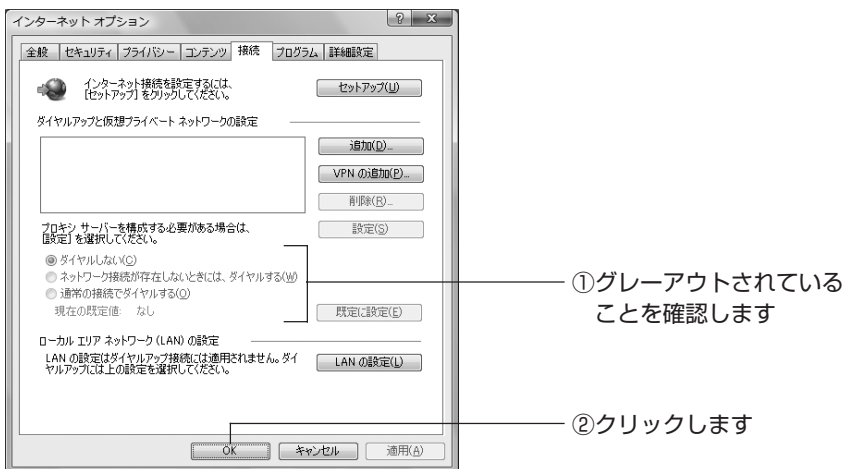
プロバイダが提供している接続ツールなどがインストールされていると、正しく設定できないことがあります。その場合は、接続ツールをアンインストールしてください。

次の手順で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認してください。

1　Internet Explorerを起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

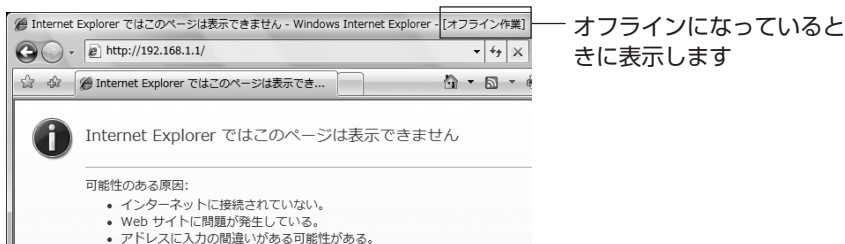
〈Internet Explorer ７の場合〉

〈Internet Explorer ６の場合〉

2　「接続」タブをクリックします。

クリックします

3　「ダイヤルしない」が選択されているか、またはグレーアウトされて選択できないことを確認して、［OK］をクリックします。

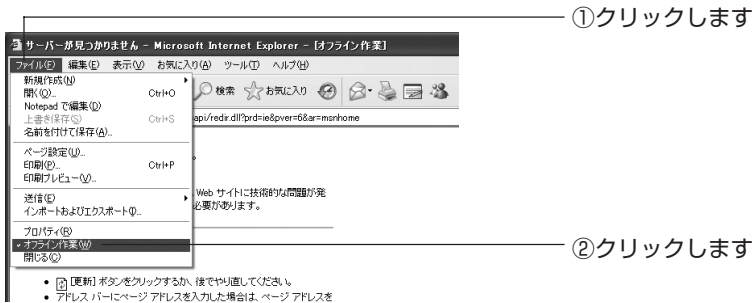
〈「ダイヤルしない」が選択されている場合〉

〈グレーアウトされている場合〉

以上で、ダイヤルアップ接続を使用していないことを確認できました。

●対処方法４ Internet Explorer がオフラインになっていないことを確認する

次の手順で、Internet Explorerがオフラインになっていないことを確認してください。

1　Internet Explorerを起動します。オフラインになっていると、タイトルバーに［オフライン作業］と表示されます。

2　「オフライン作業」のチェックを外します。

〈Internet Explorer 7の場合〉
「ツール」－「オフライン作業」をクリックして、チェックを外します。

〈Internet Explorer 6 の場合〉
「ファイル」－「オフライン作業」をクリックして、チェックを外します。

3　「オフライン作業」のチェックが外れ、タイトルバーに［オフライン作業］が表示されていないことを確認します。

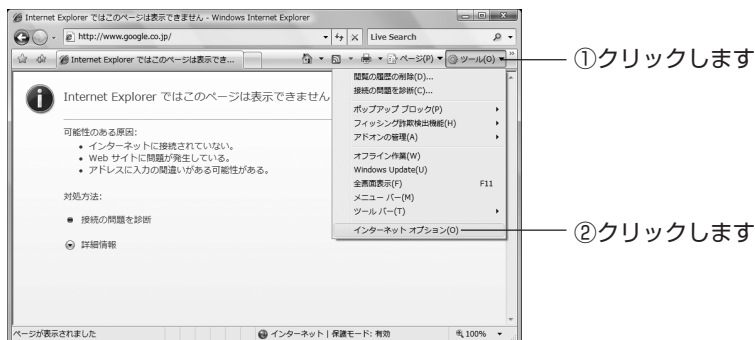
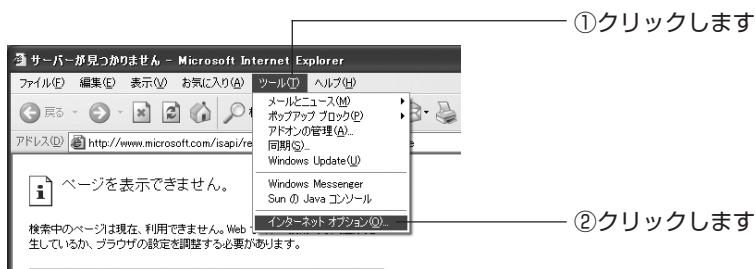
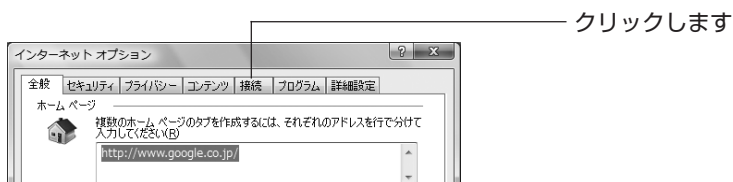
以上で、Internet Explorer がオフラインになっていないことが確認できました。

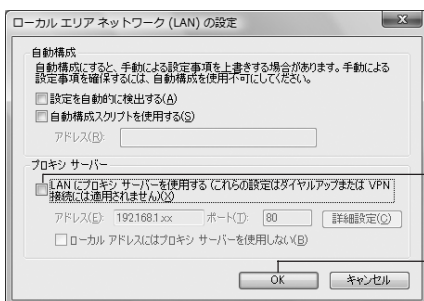
●対処方法５
プロキシサーバを使用していないことを確認する

・Windows の場合　→ P.87
・Macintosh の場合　→ P.89

・Windows の場合
次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

1　Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

〈Internet Explorer 7 の場合〉

〈Internet Explorer 6 の場合〉

2　「接続」タブをクリックします。

3　［LAN の設定］をクリックします。

4　「LANにプロキシサーバーを使用する」にチェックが付いていないことを確認して、［OK］をクリックします。

5　手順３の画面が表示されます。［OK］をクリックします。

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

・Macintoshの場合

次の手順で、プロキシサーバを使用していないことを確認してください。

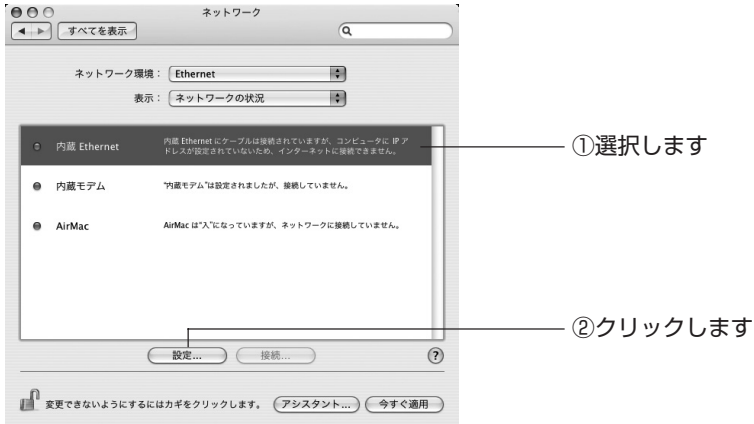
1　アップルメニューをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

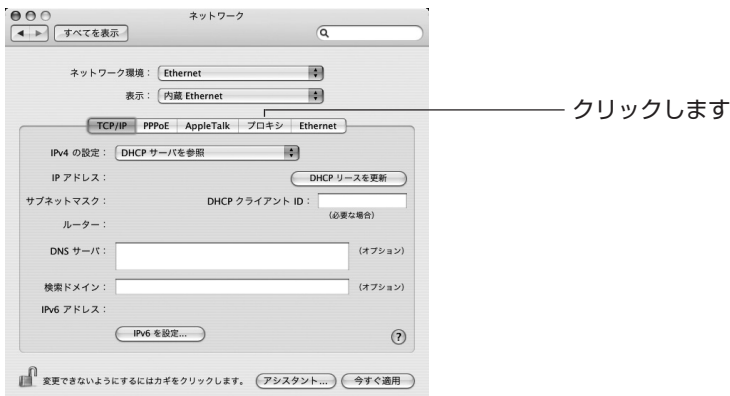
2　「ネットワーク」をクリックします。

3　お使いの環境によって手順が次のように異なります。

〈Mac OS 10.5の場合〉
「Ethernet」を選択し、［詳細］をクリックします。

〈Mac OS 10.4 の場合〉

「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

4　「プロキシ」をクリックします。

〈Mac OS 10.5 の場合〉

〈Mac OS 10.4 の場合〉

5　「設定するプロキシサーバを選択」項目にチェックが付いていないことを確認して、［OK］または［今すぐ適用］をクリックします。

チェックが付いている場合はクリックしてチェックを外し、［OK］または［今すぐ適用］をクリックします。

〈Mac OS 10.5 の場合〉

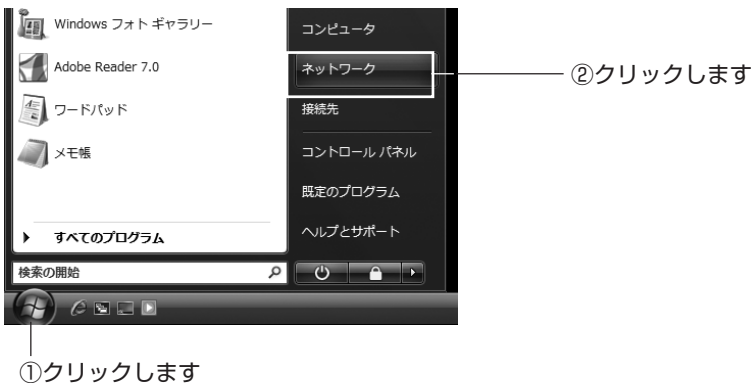
〈Mac OS 10.4 の場合〉

以上で、プロキシサーバを使用していないことが確認できました。

●対処方法６
パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認する

・Windows Vista の場合 →P.92
・Windows XP の場合 →P.95
・Windows 2000 の場合 →P.99
・Windows Me/98SE の場合 →P.101
・Macintosh の場合 →P.104

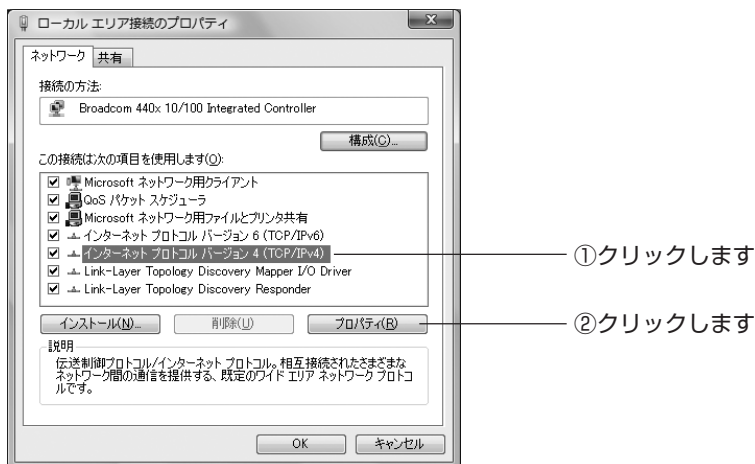
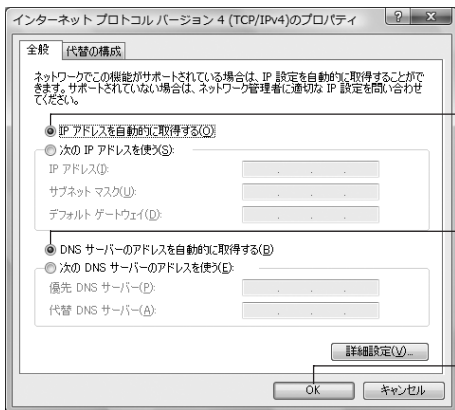
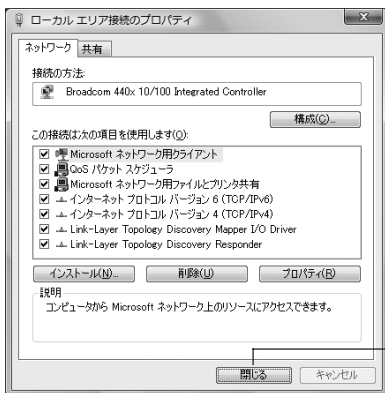
・Windows Vista の場合
次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1 ［スタート］－「ネットワーク」をクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3 ローカルエリア接続の「状態の表示」をクリックします。

4　［プロパティ］をクリックします。

5　「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、［続行］をクリックします。

6　「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」をクリックして、［プロパティ］をクリックします。

7　「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

8　［閉じる］をクリックします。

9　［閉じる］をクリックします。

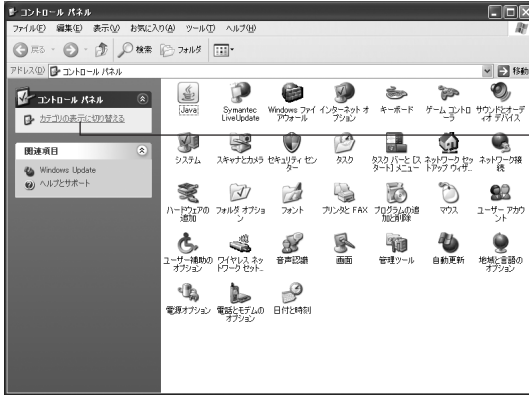
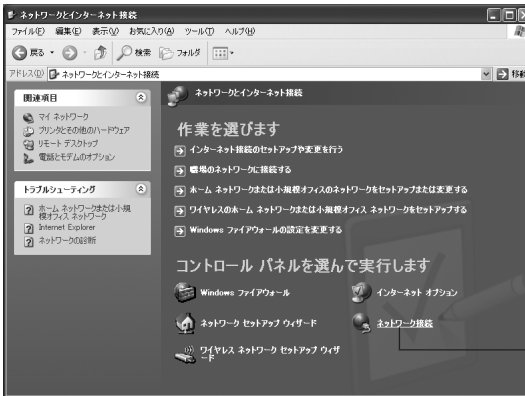
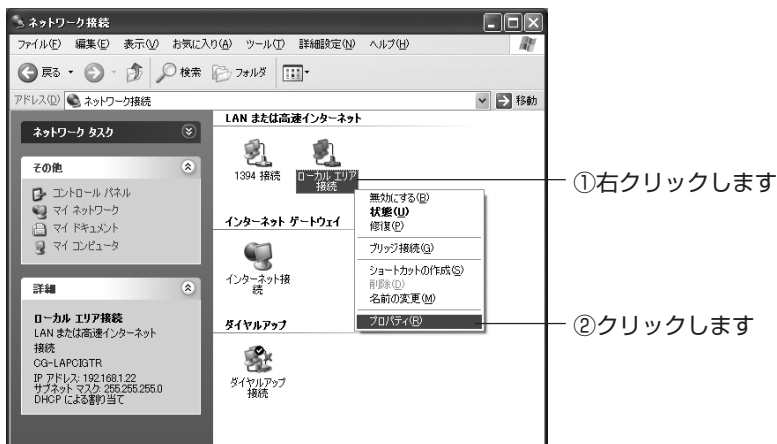
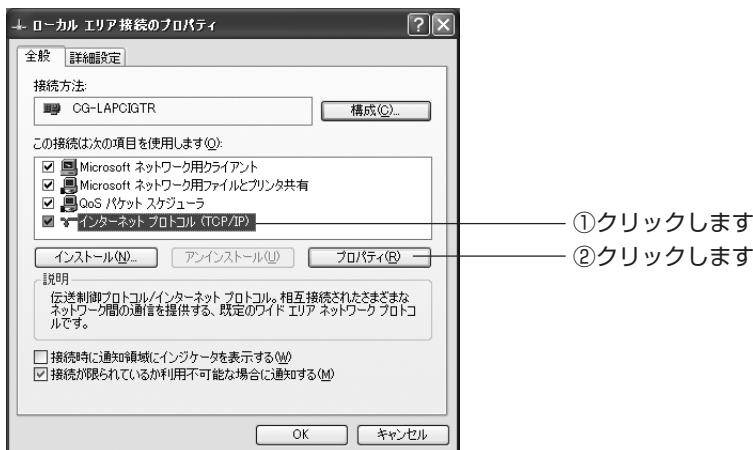
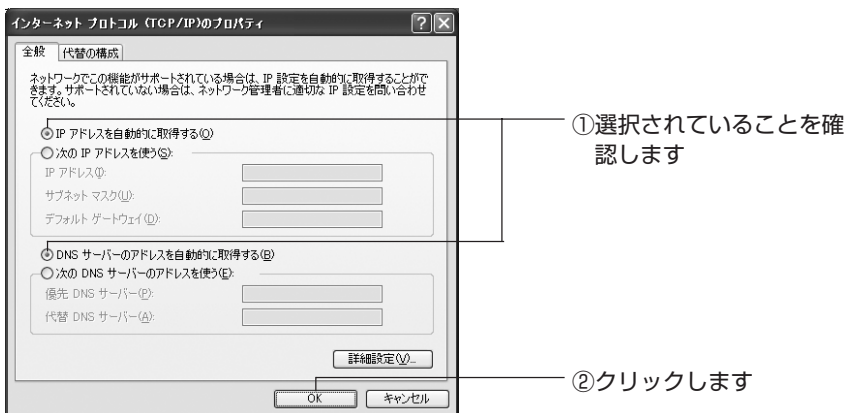
以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

・Windows XP の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1　［スタート］－「コントロールパネル」をクリックします。

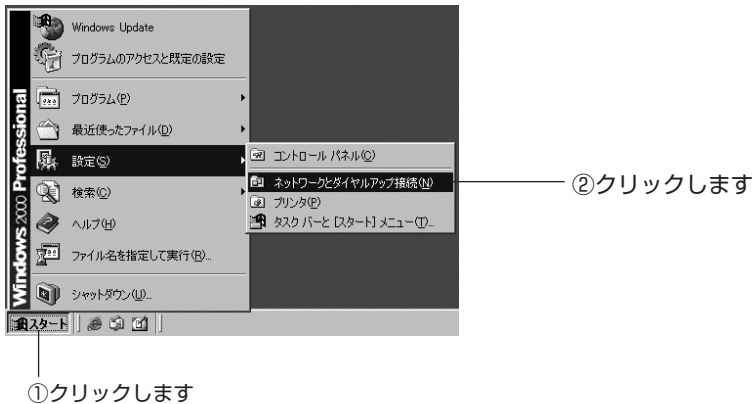
2　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

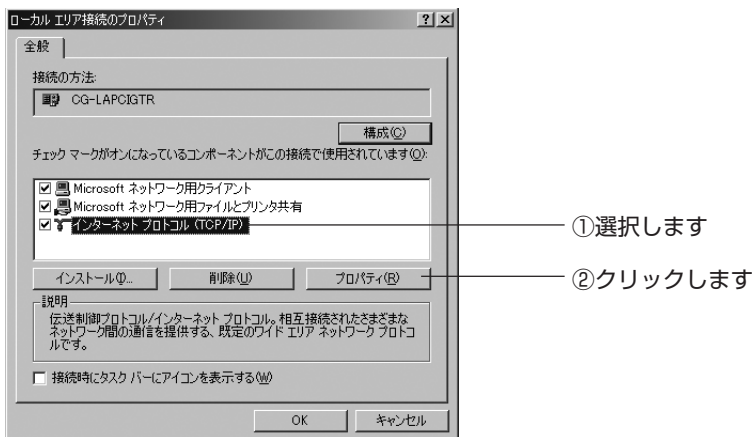
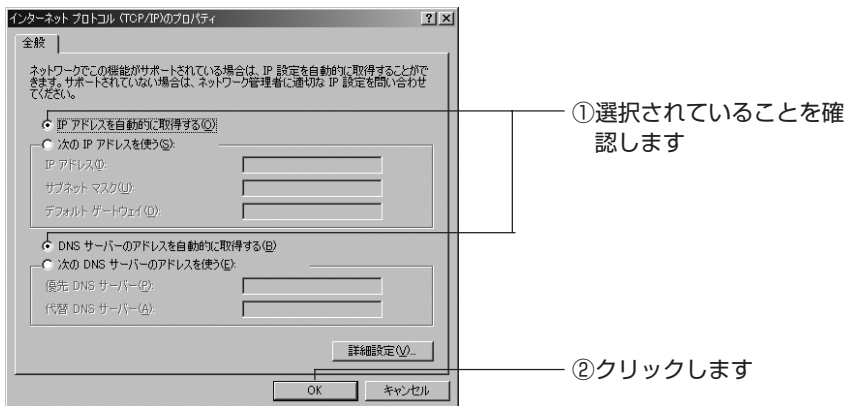
メモ 下記のようにクラシック表示の場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックすると手順２の画面が表示されます。

３ 「ネットワーク接続」をクリックします。

4　「ローカルエリアエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

5　「インターネットプロトコル（TCP/IP)」をクリックし、[プロパティ］をクリックします。

6　「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。

7　手順５の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

・Windows 2000 の場合

次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

1　［スタート］－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

2　「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。

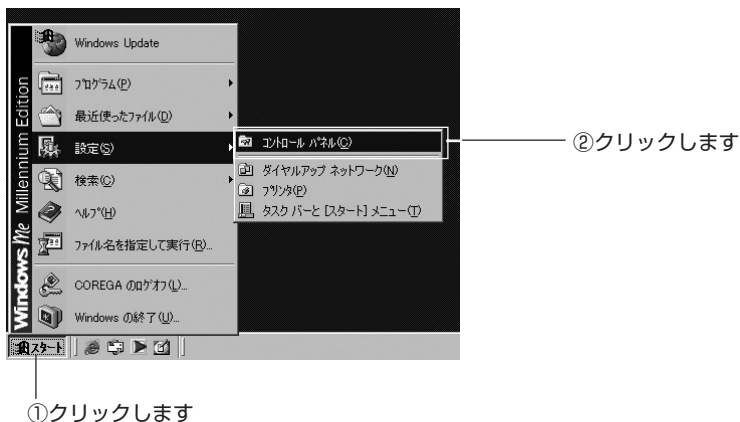
3　「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択して、[プロパティ] をクリックします。

4　「IPアドレスを自動的に取得する」および「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。

5　手順3の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。

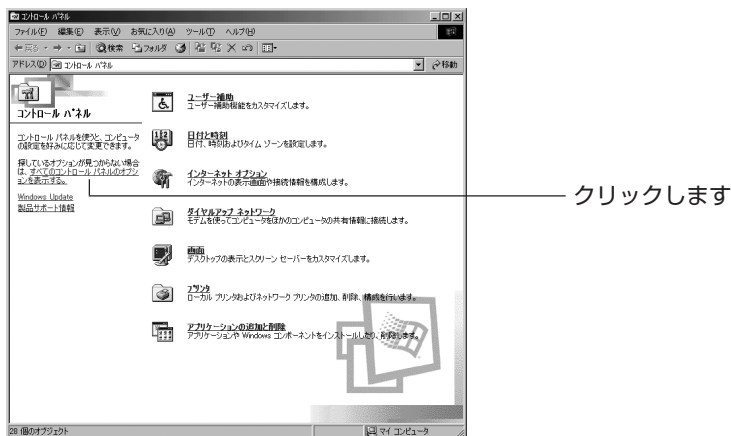
以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

・Windows Me/98SE の場合

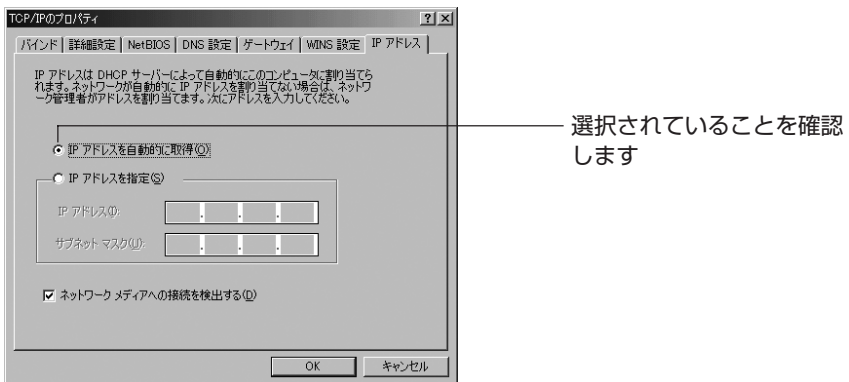
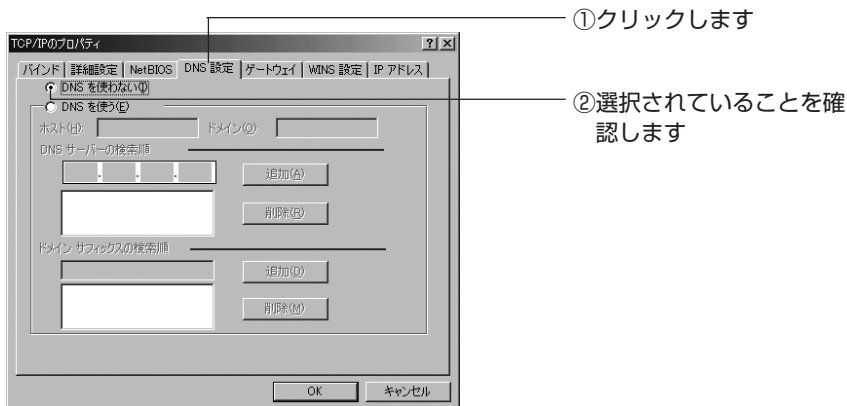
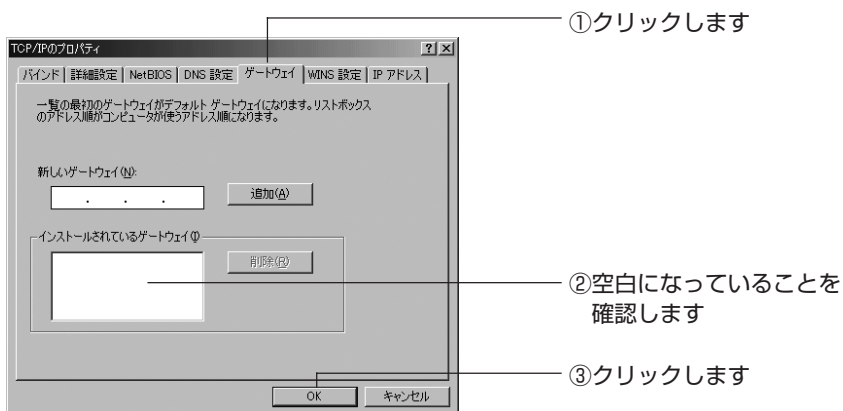
次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

※画面は Windows Me の例です。

1　［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 98SE をお使いの場合は、手順３（P.102）に進みます。

2　Windows Meをお使いの場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。この画面が表示されない場合は、手順３（P.102）に進みます。

3　「ネットワーク」をダブルクリックします。

4　「TCP/IP -> （お使いのネットワークアダプタ名）」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

5　「IP アドレスを自動的に取得」が選択されていることを確認します。

6　「DNS設定」タブをクリックし、「DNSを使わない」が選択されていることを確認します。

7　「ゲートウェイ」タブをクリックし、「インストールされているゲートウェイ」が空白になっていることを確認して、［OK］をクリックします。

8　手順４の画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

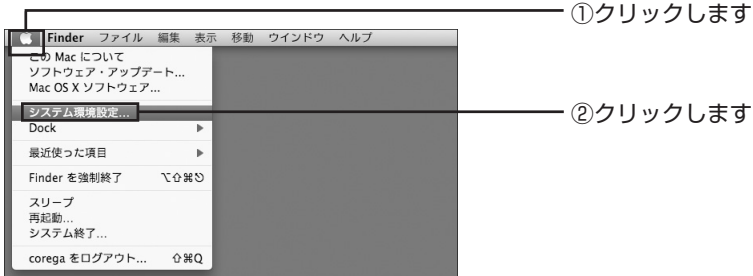
・Macintosh の場合

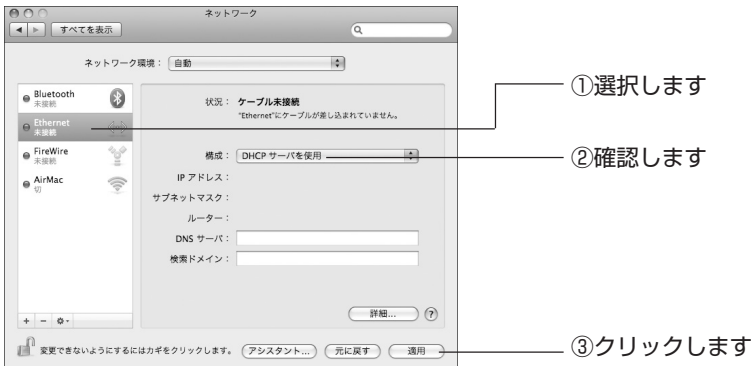
次の手順で、パソコンの IP アドレスが自動取得になっていることを確認してください。

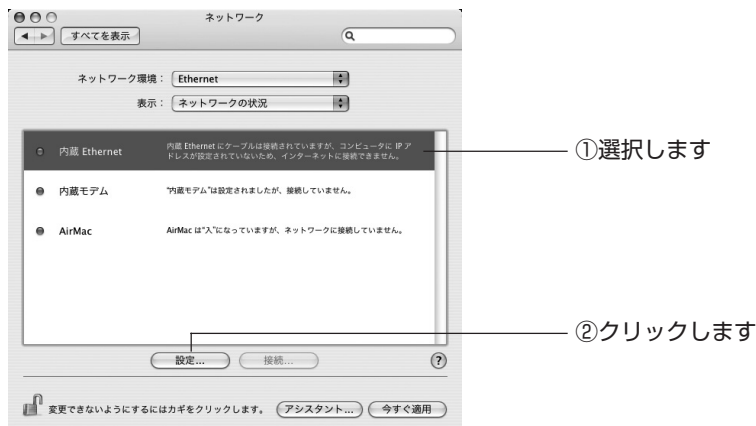
1　アップルメニューをクリックし、「システム環境設定」をクリックします。

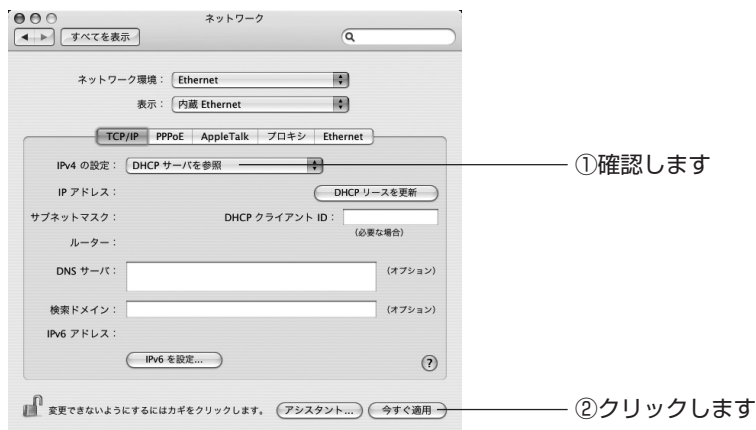
2　「ネットワーク」をクリックします。

3　お使いの環境によって手順が次のように異なります。

〈Mac OS 10.5 の場合〉

①「Ethernet」を選択し、［DHCP サーバを参照］をクリックします。

選択されていない場合は、「DHCP サーバを参照」を選択し、［適用］をクリックします。

〈Mac OS 10.4 の場合〉

①「内蔵 Ethernet」を選択し、［設定］をクリックします。

②「IPv4の設定」項目で、「DHCPサーバを参照」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は、「DHCPサーバを参照」を選択し、［今すぐ適用］をクリックします。

以上で、パソコンのIPアドレスが自動取得になっていることが確認できました。

●対処方法 7
Windows XP 用更新プログラム「KB893357」をインストールする

無線LAN内蔵パソコンからの接続のように、Windows XPに標準搭載されているワイヤレス ネットワークから接続するときに、「次のネットワークにログインするのに必要な証明書が見つかりませんでした」と表示された場合は、Windows XP用更新プログラム「KB893357」をインストールしてください。
検索サイトで「KB893357」で検索して、Microsoft 社のホームページでダウンロードします。

●対処方法 8
セカンドSSID以外で本商品に接続する

セカンドSSID（工場出荷時の設定では「CG-Guest」に設定されています）で設定された無線ネットワークでは、本商品の設定画面を表示できません。
無線LANで「CG-Guest」を選択してネットワークに接続している場合は、ファーストSSID（工場出荷時の設定ではルータ左側面の「ネットワーク名」に記載されています）で設定し直すか、またはLANケーブルで本商品に接続してください。

無線LANアダプタのトラブル

内蔵無線LANが搭載されているパソコンにドライバをインストールした

お使いのパソコンに内蔵無線LANが搭載されている場合は、無線LANアダプタのドライバのインストールをする必要はありません。「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をご覧になり、ドライバの削除（アンインストール）をしてください。「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」の表示方法は、「もっと詳しい取扱説明書はないの？」（P.112）をご覧ください。

ドライバをインストールしている途中でキャンセルしてしまった

●パソコンを再起動し、もう一度最初からやり直してください

ドライバをインストールしている途中でキャンセルをしてしまうと、ドライバが不完全な状態になり、無線LANアダプタを使用できません。キャンセルをしてしまった場合はパソコンを再起動し、もう一度はじめからやり直してください。それでもインストールが完了できなかった場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

無線LANアダプタを取り付けたらパソコンが動作しなくなった

インストール画面で無線LANアダプタをパソコンに取り付けるよう画面が表示されます。インストールはお使いの環境によって処理に時間がかかる場合がありますので、そのまましばらくお待ちください。5分ほど待っても画面が切り替わらない場合は、パソコンの電源を切り、無線LANアダプタをパソコンから取り外し、インストールをはじめからやり直してください。

パソコンに無線LANアダプタを取り付けたままWindowsをリカバリしてしまった

●「不明なデバイス」を削除してください

無線LANアダプタを取り付けたままリカバリをしてしまうと、無線LANアダプタの情報がパソコンに残ってしまいます。次の手順でドライバを削除し、一度無線LANアダプタを取り外してから、「無線LANアダプタのインストール（セット品のみ）」（P.22）をご覧になり、インストールをやり直してください。

〈Windows Vistaの場合〉

1　無線LANアダプタをパソコンに取り付け、［スタート］をクリックします。

2　「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

3　画面左側から「デバイスマネージャ」をクリックします。

4 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、[続行]をクリックします。

5 「ほかのデバイス」をダブルクリックします。

6 「ほかのデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」をクリックします。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

7 無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows XPの場合〉

1 無線LANアダプタをパソコンに取り付け、[スタート]－「コントロールパネル」の順に選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」－「システム」の順にダブルクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックします。

3 「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4 「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

5 無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

〈Windows 2000の場合〉

1 無線LANアダプタをパソコンに取り付け、[スタート]－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択し、「システム」をダブルクリックします。

2 「ハードウェア」タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックします。

3 「不明なデバイス」をダブルクリックします。

4 「不明なデバイス」の下に表示された「デバイス名」を右クリックし、「削除」を選択します。

「デバイス名」はお使いの環境によって表示される名称が異なります。

5 無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

よくあるご質問

ここでは、ルータまたはLANアダプタ以外で良く寄せられる質問について記載しています。

Q 無線LANのセキュリティは設定できるの？

A 設定できます。

本商品は、工場出荷時に次のセキュリティが設定されていますが、それ以外のセキュリティに変更したい場合は、本商品の設定画面で変更できます。設定方法は、「詳細設定ガイド」をご覧ください。「詳細設定ガイド」の表示方法は、「もっと詳しい取扱説明書はないの？」（P.112）をご覧ください。

ネットワーク名（SSID、BSSID）	本体左側面の「ネットワーク名（SSID/MAC）」に記載
暗号方式	WPA2/WPA-PSK（パーソナル）
認証方式	自動（AES/TKIP）
共有キー（WPA共有キー）	本体左側面の「初期PINコード（ネットワークキー）」に記載

また、マルチAP機能をお使いの場合は、ファーストSSIDとセカンドSSIDの2つのSSIDを使用できますが、セカンドSSIDで設定できるセキュリティは「WEP」のみです。マルチAPについては「マルチAP機能を使う」（P.62）をご覧ください。

Q 無線LAN内蔵のパソコンからは接続できないの？

A 接続できます。

パソコンに内蔵されている無線LANアダプタがIEEE802.11n（ドラフト）/g/bに対応している必要があります。詳しくは、お使いのパソコンがWindowsの場合は「Windowsの内蔵無線LANで接続する」（P.35）、Macintoshの場合は「AirMac（Macintoshの内蔵無線LAN）で接続する」（P.44）をご覧ください。

Q 接続するすべてのパソコンで本商品の設定をしなければならないの？

A いいえ。設定は不要です。

本商品の空いているLANポートと接続するパソコンのLANポートを、LANケーブルで接続してください。

Q 本商品を工場出荷時の状態に戻せますか？

A はい。

本商品を工場出荷時の状態に戻す手順は次のとおりです。

1　すべてのLANケーブルを抜きます。

2　ACアダプタをコンセントから抜き、1分以上経過してから再び差し込みます。
本商品が再起動します。

・本商品にACアダプタを差し込み、前面のPower LEDが点灯し、Status LEDが点灯→消灯に変わると、本商品が正常に起動しています。
・本商品が起動するまでに2分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

3　本商品の電源が入っている状態で、背面にある初期化ボタンを10秒以上押し続けます。押し始めてから5秒ほどでStatus LEDがゆっくり点滅して、さらに5秒ほどでStatus LEDが速く点滅します。速く点滅していることを確認してから、初期化ボタンを離します。
初期化ボタンは、クリップなどの硬くて先の細いものを使用して押してください。

4　前面のPower LEDが点灯し、Status LEDが点灯→消灯に変わり、WLAN LEDが点灯して、本商品が起動したことを確認します。

本商品が起動するまでに2分ほどかかります。起動が完了するまでしばらくお待ちください。

以上で本商品が工場出荷時の状態に戻ります。

Q 無線LANアダプタの取り外し方法は？

A お使いの環境に合わせて無線LANアダプタを取り外してください。

無線LANアダプタをお使いのパソコンから取り外す場合は次のとおりです。

● Windows Vistaの場合

1　パソコンの右下のをクリックし、「CG-WLCB300GNM（またはCG-WLUSB300GNM）を安全に取り外します」をクリックします。

2　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

3　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

●Windows XP/2000の場合

1　パソコンの画面右下の▯を右クリックし、「終了」を選択します。

無線クライアントユーティリティ画面の右上の☒をクリックして画面を閉じてもユーティリティは終了していません。

2　パソコンの画面右下の▯をクリックし、「CG-WLCB300GNM（またはCG-WLUSB300GNM）を安全に取り外します」（お使いのOSにより、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

3　安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、☒または［OK］をクリックします。

4　無線LANアダプタをパソコンから取り外します。

Q　無線LANアダプタの設定画面を表示させる方法は？

A　「無線クライアントユーティリティ」のアイコンをダブルクリックしてください。

「無線クライアントユーティリティ」をインストールすると、パソコンの画面右下に▯が表示されます。この▯をダブルクリックすると設定画面を表示できます。

Q　無線LANアダプタのアンインストール方法は？

A　付属の「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」をご覧ください。

セット品に付属の無線LANアダプタのアンインストール方法は、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）収録の「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）をご覧ください。

Q もっと詳しい取扱説明書はないの？

A はい。ご用意しております。

CG-WLBARGNHの詳細な機能や使用方法については、詳細設定ガイドをご覧ください。「詳細設定ガイド」は次の手順でダウンロードしてください。また、CG-WLCB300GNMまたはCG-WLUSB300GNMの詳細な機能や使用方法については、付属のユーティリティディスクからご覧になることもできます。

- 「詳細設定ガイド」をご覧いただくには、お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、Adobeのサイトからダウンロードしてインストールしてください（Adobe Readerは無料でダウンロードできます）。
- 「詳細設定ガイド」をダウンロードするには、インターネットに接続する必要がありますので、インターネットへの接続に問題がないか、ご確認ください。
- お使いの環境によっては、Webブラウザの中にPDFファイルが表示される場合があります。その場合は、[保存]（フロッピーディスクの形をしたボタン）をクリックすると、「詳細設定ガイド」をパソコンに保存できます。

●コレガのホームページからダウンロードする

1. Internet ExplorerまたはSafariを起動し、アドレス欄に「http://corega.jp/」（「 」は不要です）と入力してEnterキーまたはreturnキーを押します。
2. 「製品情報」から「無線LAN」を選択します。
3. 「CG-WLBARGNH」、「CG-WLBARGNH-P」、「CG-WLBARGNH-U」のいずれかを選択し、「ダウンロード」をクリックします。
4. 「詳細設定ガイド」を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択します。
5. ダウンロード完了後、保存した「詳細設定ガイド」をダブルクリックしてご覧ください。

メモ

予告なくコレガホームページのコンテンツを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

●ユーティリティディスクから見る（セット品のみ）

CG-WLCB300GNMまたはCG-WLUSB300GNMは付属のユーティリティディスク（CD-ROM）からご覧になれます。

1　付属のユーティリティディスク（セット品のみ付属）をパソコンに入れ、画面が表示されたら［マニュアルを読む ～詳細PDFマニュアル～］をクリックします。

2　「無線クライアントユーティリティ 詳細設定ガイド」（PDFマニュアル）が表示されます。

トラブル・疑問が解決しないときは

本書に記載された手順以外の方法をコレガのホームページでお知らせしていることもありますので、あわせてご覧ください。

●コレガホームページ
http://corega.jp/
●マニュアルをダウンロードしたいときは
http://corega.jp/support/manual/
●「よくある問い合わせ」を見る
http://corega.jp/faq/

本商品の設定が完了していない場合は、モデムにパソコンを直接接続してコレガホームページをご覧ください。

・サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。
・本商品のお問い合わせは、メール、FAX、電話のいずれかをご利用ください（弊社へのお持込によるお問い合わせは承っておりません）。
・本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版OSのみ動作を保証しています。そのため、日本語版OS以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。
・サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます（This product is supported only in Japanese.）。
・電話が混み合っている場合は、メールまたはFAXをご利用ください。

メールでのお問い合わせ

お問い合わせの前に、あらかじめコレガのユーザズサイト「corePark」でユーザ登録が必要となります。

● corePark アドレス
http://corega.jp/support/inquiry/mailfaq.htm
メールサポートは24時間受け付けております。質問の回答は弊社営業日に随時メールにて回答おります。

FAX でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

FAX 番号：045-476-6294

コレガホームページよりダウンロードした「お問い合わせ用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項をご記入ください。「お問い合わせ用紙」は次の URL からダウンロードできます。

●「お問い合わせ用紙」のダウンロード

http://corega.jp/support/inquiry/support_2.pdf

●必要事項

・製品名、型番　　　　　　・ご購入日、ご購入店
・お客様のお名前、電話番号（連絡が必ず取れる番号）、FAX 番号
・ご利用のネットワーク環境の詳細※1
・トラブルの詳細※2

※1　ご利用のネットワーク環境の詳細で「モデムの製品名」「プロバイダ名」「回線卸業者（フレッツ、アッカなど）「IP 電話の使用の有無」「有線・無線 LAN アダプタの製品名」「（無線の場合）無線ルータまたは無線アクセスポイントから無線 LANアダプタまでの距離」などの記入がない場合は的確な回答が難しくなります。お手数ではございますが、できるかぎり詳しくお知らせください。
※2　トラブルの内容が「マニュアルどおりに設定しても設定できない」という場合は、マニュアルのタイトル、設定できたページ範囲をお知らせください。

電話でのお問い合わせ

●コレガサポートセンタ

電話番号：045-476-6268
受付時間：10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00
（祝・祭日を除く月～金、ただし弊社指定営業日は除く）
電話でのお問い合わせには、おかけ間違いのないよう番号をお確めのうえ、お問い合わせください。

保証と修理について

●保証について

保証書の裏面に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象になります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

●修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、コレガのホームページよりダウンロードした「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項をご記入ください。
「修理依頼用紙」は次のURLからダウンロードできます。

〈修理依頼用紙のダウンロード〉

http://corega.jp/support/inquiry/support_3.pdf

〈ご購入の販売店にお持ちいただくもの〉

・修理依頼用紙
・製品保証書
・製品の購入日が証明できるもの（レシートなど可）
・製品本体（ACアダプタなどの付属品一式を含む）

〈修理をご依頼する際のご注意〉

・弊社へのお持込による修理は受け付けておりません。
・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の捺印がない場合は、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。
・製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

●有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。有償修理価格は次のURLをご覧ください。

http://corega.jp/repair/

付録

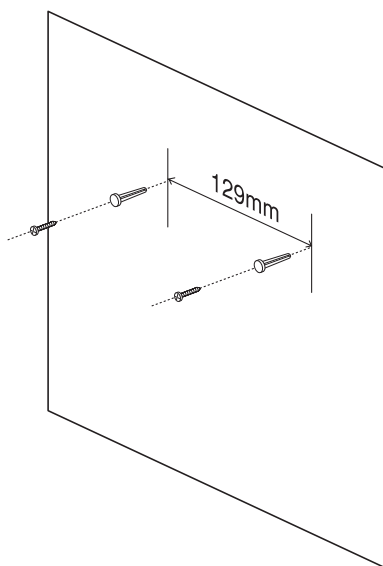
壁掛け用ネジセットを取り付ける

本商品は付属の壁掛け用ネジセットを使用して、壁面へ取り付けることができます。

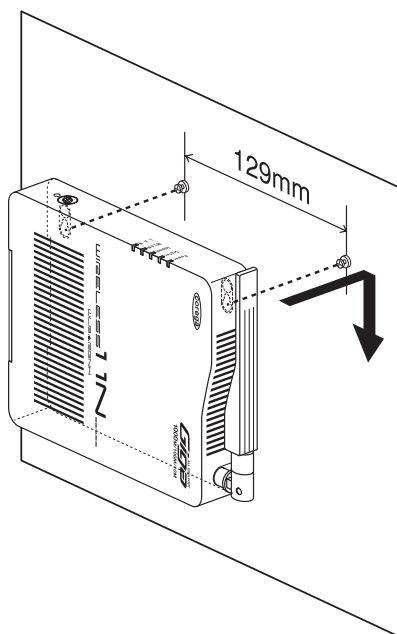
1　準備します

本体底面のゴム足をすべて取り外します。

2　壁にネジを埋め込みます

壁掛け用ネジ穴の間隔で、付属の壁掛け用ネジセットのネジ（2本）を壁などに埋め込みます。ネジは最後まで埋め込まず、ネジ頭を約5mm残します。

石膏ボードやベニヤなど、中空になっていてネジ穴が埋め込みづらい場合は、壁掛け用ネジセットのプラスチックアンカ(2個)を併用します。ネジを埋め込む位置に、キリやドリルで穴を開けておき、プラスチックアンカをかなづちで軽く叩いて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカがぴったり入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因になり、落下による破損やけがの原因になるおそれがあります。

3　本体を壁に取り付けます

本体の壁掛け用ネジ穴を壁に埋め込んだネジ頭に合わせます。本体を下にスライドさせて、しっかり固定します。

本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないように、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていることを確認してください。

製品仕様

● CG-WLBARGNH

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	WAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T）/IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）
	LAN	IEEE802.3ab（1000BASE-T）/IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V、Macintosh
対応OS		Window Vista（32bit）/XP（32bit）/2000/Me/98SE、Mac OS X（10.4/10.5）
推奨ブラウザ		Internet Explorer 6.0/7.0、Safari 2.0/3.0
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式	固定式外部アンテナ×1、プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、WPA2-EAP（IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、802.1X-WEP（ダイナミックWEP）、 ステルスAP（SSID名隠蔽、ANY拒否）、MACアドレスフィルタリング、 ワイヤレスパーティション（無線端末＜＝＞有線端末、無線端末＜＝＞無線端末間通信の有効／無効）
WAN仕様	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×1ポート（MDI/MDI-X自動認識）
LAN仕様	規格	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
	ポート	RJ-45×4ポート（全ポートMDI/MDI-X自動認識）
電源仕様（ACアダプタ）	定格入力電圧	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	600mA
最大消費電力		9.5W
環境条件	動作時	温度：0～40℃／湿度：5～90%（結露なきこと）
	保管時	温度：−20～60℃／湿度：5～95%（結露なきこと）
外形寸法		27（W）×137（D）×163（H）mm 本体のみ（アンテナ／ゴム足／突起部を含まず）
質量		310g 本体のみ

工場出荷時の設定

管理者設定	ユーザ名	root
	パスワード	設定なし
	システム名	CG-WLBARGNH
ネットワーク設定	IPアドレス	192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード	Infrastructure
	SSID	本体左側面「ネットワーク名」に記載
	チャンネル	自動設定
	暗号化	WPA2/WPA-PSK（セキュリティキーは「初期PINコード」に記載）
ルータ機能スイッチ		ON
マルチAP機能スイッチ		ON

● CG-WLCB300GNM

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PCインタフェース	PC Card Standard（Card Bus） TypeII準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 2.412GHz～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）g/b] 13ch（1～13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証） TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む）、 IEEE802.1X-WEP（ダイナミックWEP）
電源仕様	供給方法	PCカードインタフェースから供給
	定格入力電圧	DC3.3V
	待機時消費電流	340mA
	最大消費電流	720mA
環境条件	動作時	温度：0～55℃／湿度：5～90%（結露なきこと）
	保管時	温度：−20～65℃／湿度：5～95%（結露なきこと）
外形寸法		54（W）×123（D）×9（H）mm（突起部：54（W）×38（D）×9（H）mm）
質量		44g

工場出荷時の設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

● CG-WLUSB300GNM

仕様

サポート規格	無線LAN	（国際規格）IEEE802.11n（ドラフト）/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	PCインタフェース	USB 2.0/1.1準拠
取得承認		VCCI クラスB、技術基準適合証明
対応PC		DOS/V
対応OS		Windows Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
無線LAN仕様	周波数帯域	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 2.412GHz〜2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11n（ドラフト）/g/b] 13ch（1〜13ch）
	伝送速度	[IEEE802.11n（ドラフト）] 300Mbps（ショートガードインターバル/ダブルチャンネル時（最大）） [IEEE802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure/Ad-Hoc
	アンテナ形式	プリントアンテナ×2
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、 WPA-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、 WPA-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、 WPA2-EAP（エンタープライズ:IEEE802.1X認証）、 TKIP/AES（WPA/WPA2の設定内に含む） IEEE802.1X-WEP（ダイナミックWEP）
電源仕様	供給方法	USBインタフェースから供給（バスパワー）
	定格入力電圧	DC5V
	待機時消費電流	200mA
	最大消費電流	450mA
環境条件	動作時	温度：0〜40℃／湿度：10〜90%（結露なきこと）
	保管時	温度：−20〜60℃／湿度：5〜95%（結露なきこと）
外形寸法		28（W）×11（D）×91（H）mm 本体のみ（キャップ含まず）
質量		20g 本体のみ（キャップ含まず）

工場出荷時の設定

通信モード	Infrastructure
チャンネル	自動設定
暗号化	無効

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は、GNU General Public License Version 2に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行ないません。詳細についてはコレガホームページ内の「GNU一般公有使用許諾書（GNU General Public License)」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

Copyright©2008 株式会社コレガ
coregaは、株式会社コレガの登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Wii・ニンテンドーDS・ディーエス/DSは任天堂株式会社の登録商標または商標です。
AirMac、Macintosh、Mac OS、Safariは、Apple Inc.の登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。

2008年6月　初版